

CDP 2023年 企業向け フォレスト質問書 回答に向けて(詳細版) ver. 1

2023年 6月
CDP Worldwide-Japan



本ウェビナーの内容



1. 本資料について
 2. フォレスト質問書全体について
 3. フォレスト質問書各モジュールについて
-

本ウェビナーの内容

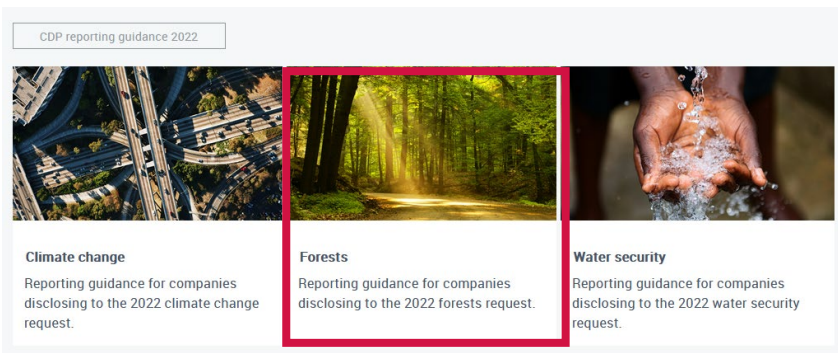
1. 本資料について
 2. フォレスト質問書全体について
 3. フォレスト質問書各モジュールについて
-

本資料に関する注意事項

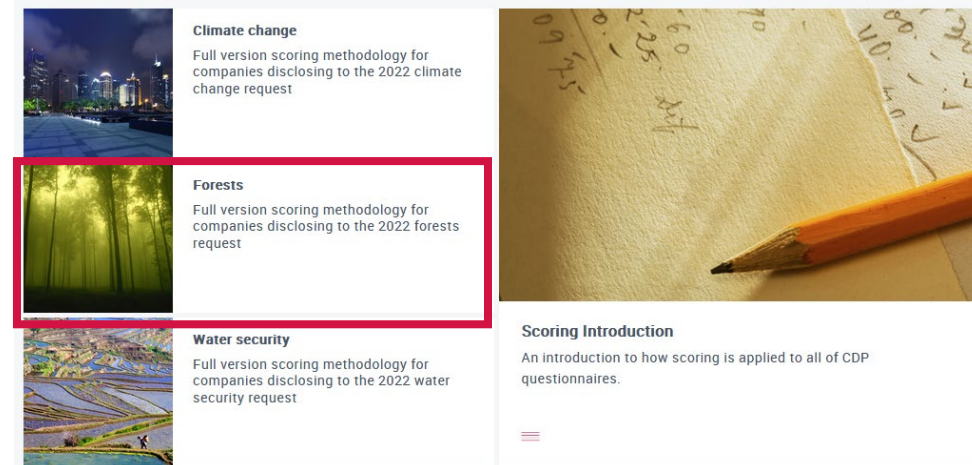
- ▼ 本資料は、ガイダンスページにて公開している資料(次ページ参照)においてわかりづらい点に対し**補足的な説明をすることを目的**としており、また、**多くのセクター(金属・鉱業、石炭セクターを除く)**に関連する情報を優先しております。質問書回答について**網羅的に解説するものではありません**ので、ご了承ください。
- ▼ 本資料は、**完全版の質問書**に基づいて作成しています。なお、**簡易版の質問書**では評価基準が異なる場合がありますので、ご注意ください(簡易版質問書のスコアリング基準を参照)。
- ▼ 質問書のガイダンス及びスコアリング基準は、最新のベストプラクティスの反映や、回答データの質の向上等を目的として、**開示サイクルの途中で更新**される場合があります。そのため、ガイダンスページにて公開している**英語版の資料を最新情報**としてご確認ください(各資料内記載の**Version Control**にて**更新の要点**が記されています)。
- ▼ 上記の点を踏まえてですが、これまでに公開している**日本語説明資料(2023年質問書変更点、2023年評価基準変更点)**もご活用ください(CDP Japan 企業向け質問書&ガイダンスのページにて掲載中)。

ガイダンスページについて

- ▼ フォレスト質問書に関する詳細な情報については、企業向けガイダンスページにて公開しております。



フォレスト質問書ガイダンスでは、各質問における各解答欄や選択肢の意味等についてご確認ください。



フォレスト質問書スコアリング基準では、各質問において、回答がどのように評価されるのかをご確認いただけます。

- ▼ ガイダンス及びスコアリング基準の資料は、日本語に言語を切り替えることも可能ですが、日本語版は最新の情報を反映できていない場合がございます。公式な情報としては、英語版をご覧ください、日本語版は参考情報として活用ください。

その他の参考資料

(2023年6月時点)

※ 日本語:(日)、英語:(英)



関連資料	概要	掲載場所
2022年-2023年 フォレスト 質問書変更点 解説PPT(日)	前年(2022)の質問書から変更された箇所を日本語で解説しています。	リンク
2022年-2023年 フォレスト スコアリング変更点 解説PPT(日)	前年(2022)のスコアリング基準から変更された箇所を日本語で解説しています。	リンク
2022年-2023年 フォレスト スコアリング基準変更点 ブック(英)	前年(2022)のスコアリング基準から変更された箇所の全体リストを掲載しています。	リンク
2023年フォレスト 評価カテゴリーの重みづけ(英)	CDPのスコアリングでは、マネジメントレベル及びリーダーシップレベルの評価において、カテゴリーが設定されており、各カテゴリーに適用される評価上のウェイトを掲載しています。	リンク
CDPフォレストレポート2022:日本版(日)	2022年CDPフォレスト回答企業のスコア及び回答の分析結果を掲載しています。	リンク
CDP Technical Note: Implementing commitments on deforestation and ecosystem conversion(英)	フォレスト質問書を回答する上で重要なコンセプトをまとめたテクニカルノート(2023年2月に発行)	リンク
CDP 開示サポート 日本サイト(日) (フォレスト質問書2023-基礎編:動画／資料) (フォレスト質問書2023-詳細編:解説PPT)	CDPでは日本企業様による開示を支援するために、日本語を通じた情報提供をしております。随時資料を公開しています。	リンク

本ウェビナーの内容



1. 本資料について
 2. フォレスト質問書全体について
 3. フォレスト質問書各モジュールについて
-

スコアリングと留意点



▼ スコアリングの詳細は、スコアリングイントロダクション(日本語版は更新予定)をご確認ください。

▼ スコアリングに影響する回答上の一般的な留意点は以下の通り：

✓ スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみ基づいて実施されます。

⇒外部URLの参照、資料の添付(一部質問を除く)、他の回答欄を参照しなければならない回答等はスコアリングには反映されません。

NG回答例

- ・「当社のリスク管理活動の詳細については、ウェブサイト(<http://www.~~~>)をご覧ください」
- ・「詳細は質問〇〇への回答内容を参照のこと」

✓ 無回答欄が多い場合はスコアが低くなってしまいます。

- **Please explain**(説明してください)や**Description**(詳細)は必ず記入してください。

- 数値記入欄において、空欄とゼロを回答することは意味が異なります。不明な場合は空欄のままで、把握していてゼロの場合は「0」と記入ください。

✓ 下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアが0になる質問があります(例：マネジメントが満点の場合のみリーダーシップを評価)。

✓ 自社固有の影響の状況(context of the impact specific to the company)：正確な性質、場所、懸念される影響の規制のほか、注目に値する地理的/地域的な例も含む、リスク/機会要因に関する詳細な情報や自社の事業や操業に固有な活動、プログラム、商品、サービス、手法、操業場所に関して触れるなどの詳細を記載ください(例えば、F3.1bなどで[自社固有の説明]欄にこの記載が求められます)。

✓ 質問によっては、時間的情報(dates)、地理的情報(locations)が求められることがありますのでご注意ください。特にこれらの情報が必要な場合には、各質問の採点基準において特記されています(例えば、F5.1の説明では時間的情報、「F4.6では事例(地理的⁸情報を含む)」が求められます)。

スコアリング: カテゴリーと重み付け



- ▼ **カテゴリー:** 質問書モジュールのサブグループであり、各テーマ毎に異なります。主要なデータポイントに焦点を当て、企業のスコアをより詳細に分析するために使用されます。下表はフォレスト質問書のカテゴリーです。
- ▼ **重み付け:** マネジメントとリーダーシップのレベルで適用され、総合スコアにおける各カテゴリーの相対的な重要性を反映しています。下表は2023年重みづけの2022年からの変更点を示しています。
- ▼ 2023年フォレスト質問書にはセクター別の質問がありませんので、カテゴリーと重み付けは全セクターに等しく適用されます。詳しくは、[カテゴリーと重みづけに関する資料\(日本語版は更新予定\)](#)をご確認ください。

質問のカテゴリー
土地関連データ
消費・生産データ
森林リスク・影響評価
森林関連のリスク
森林関連の機会
ガバナンス
方針とコミットメント
事業戦略
目標
トレーサビリティ
認証
エンゲージメント
最終承認
100%情報開示

質問のカテゴリー	2023 マネジメントの重み付け	2023 リーダーシップの重み付け
土地関連データ	10%	10%
消費・生産データ	7%→ 9%	3%→ 7%
森林リスク・影響評価	7%	7%
森林関連のリスク	7%	7%
森林関連の機会	5%	5%
ガバナンス	6%	6%
方針とコミットメント	42%→ 10%	42%→ 10%
事業戦略	3%	3%
目標	10%	10%
トレーサビリティ	12%	12%
認証	10%	42%→ 10%
エンゲージメント	10%	10%
最終承認	1%	1%
100%情報開示	0%	2%

フォレスト Aリスト要件①



- ▼ リーダーシップポイントの**最低基準**を満たしている(具体的基準については後日公表予定)
- ▼ 質問F0.7/F0.7a、F4.5a、F6.2の報告に**重大な除外がない**：
 - ✓ F0.7aで除外を報告する企業は、除外ごとにその根拠と、その重大度を明記する必要があります。企業は、除外されるコモディティの量の割合も選択する必要があります(「除外された量の割合」列で報告)。
 - ✓ 最近の合併または買収による除外は、上記基準の対象外となり、重大な除外対象とみなされません。ただし、その場合、企業は、報告年に合併または買収が行われたこと、且つ、森林関連データが翌報告年に含まれることを明記している必要があります。
 - ✓ 企業方針からの除外(つまり、F4.5aの「スコープ」列で「全社」以外を選択している)、またはトレーサビリティシステムからの除外(つまり、F6.2の「除外」列で「該当なし」以外を選択している)を報告する企業は、除外対象について詳細(除外の根拠、各除外対象の総コモディティ量における割合など)を提供する必要があります。
 - ✓ 上記の質問で、除外についてその根拠や量の割合を報告しない企業は、2023年フォレストAリストの対象外となります。
- ▼ **全てのコモディティ生産量/消費量と全ての森林リスク国の原産地**が報告されており、F1.5cでマネジメントポイントが満点付与されている
- ▼ すべての操業およびサプライチェーンに対する**包括的かつ徹底的なリスク評価**が行われたことが示されており、F2.1aで認識ポイントが満点付与されている

フォレスト Aリスト要件②



- ▼ 森林減少および森林劣化に関連するコミットメントに沿って行動したことが示されている:
- ✓ 企業は、F1.3で「**自然生態系の転換をモニタリング**しませんでした」以外の選択肢を選択している必要があります(F0.4 でバリューチェーンの段階として「生産」を選択した企業にのみ適用されます)。
- ✓ 企業は、F1.7で「はい、弊社の**サプライチェーンの森林減少/自然生態系の転換フットプリントをモニタリング**しています」または「はい、調達地域に基づいた森林減少/自然生態系の転換フットプリントを推定しています」のいずれかを選択している必要があります。
- ✓ 企業は、F4.5で「はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開している」を選択し、且つ、F4.5aの「内容」列で次の選択肢のうち少なくとも1つを選択している必要があります(選択肢:「**自然生態系の転換を中止するコミットメント**」、「**森林減少を撲滅するコミットメント**」、または「**森林減少ゼロ、泥炭地緑化なし、搾取なし(NDPE)に対する誓約**」)。
- ✓ 企業は、F4.6で「はい」を選択し、且つ、F4.6bの「基準」列で次の選択肢のうち少なくとも1つを選択している必要があります(選択肢:「**自然生態系の転換なし**」または「**総森林減少ゼロ/森林減少なし**」(木材製品の場合は、「森林減少のネットゼロ」も可))。

フォレスト Aリスト要件③



- ▼ 森林減少および森林劣化に関連するコミットメントに沿って行動したことが示されている:
- ✓ 企業は、F6.1で「はい」を選択し、且つ、F6.1aの「森林減少ゼロ/転換ゼロのコミットメント」と関連したコモディティ固有の目標を少なくとも1つ記載している必要があります。
- ✓ 企業は、F6.2(トレーサビリティシステムの有無)で「はい」を選択している必要があります。
- ✓ 企業は、F6.2aでリーダーシップポイントが満点付与されている(つまり、十分なトレーサビリティ地点までのトレーサビリティがコモディティ量90%以上である)、または、F6.3でマネジメントポイントが満点付与されている(つまり、コモディティ量の70%以上が認証されたものである)必要があります。
- ✓ 企業は、F6.4で「はい、転換および/または森林減少のコミットメントについて実施中のシステムがあります」を選択し、且つ、F6.4aの「順守されている総量の割合」で「91~99%」または「100%」のいずれかを選択している必要があります。
- ✓ 企業は、F6.8で「はい、直接サプライヤーに対してエンゲージメントを行っている」を選択している必要があります(該当する場合)。
- ✓ 企業は、F6.10で「はい、ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行っています」を選択しているか、F6.11で「はい」を選択している必要があります。

フォレスト Aリスト要件④



- ▼ **公開の回答**を提出している必要があります(2023年より、回答を非公開とする場合には、リーダーシップバンド(A、A-)のスコアは獲得できず、最高で「B」となります)。
- ▼ 簡易版の質問書に回答している企業が獲得できるのは最高でも「A-」です。
- ▼ さらに、**企業はさまざまな確認項目**を満たしている必要があります(1. CDPスコアリングチームによる回答の再確認、2. 評判リスクのチェック、3. CDPスコアリング運営委員会の承認)。詳しくは、[スコアリングイントロダクション](#)(日本語版は更新予定)をご覧ください。

本ウェビナーの内容



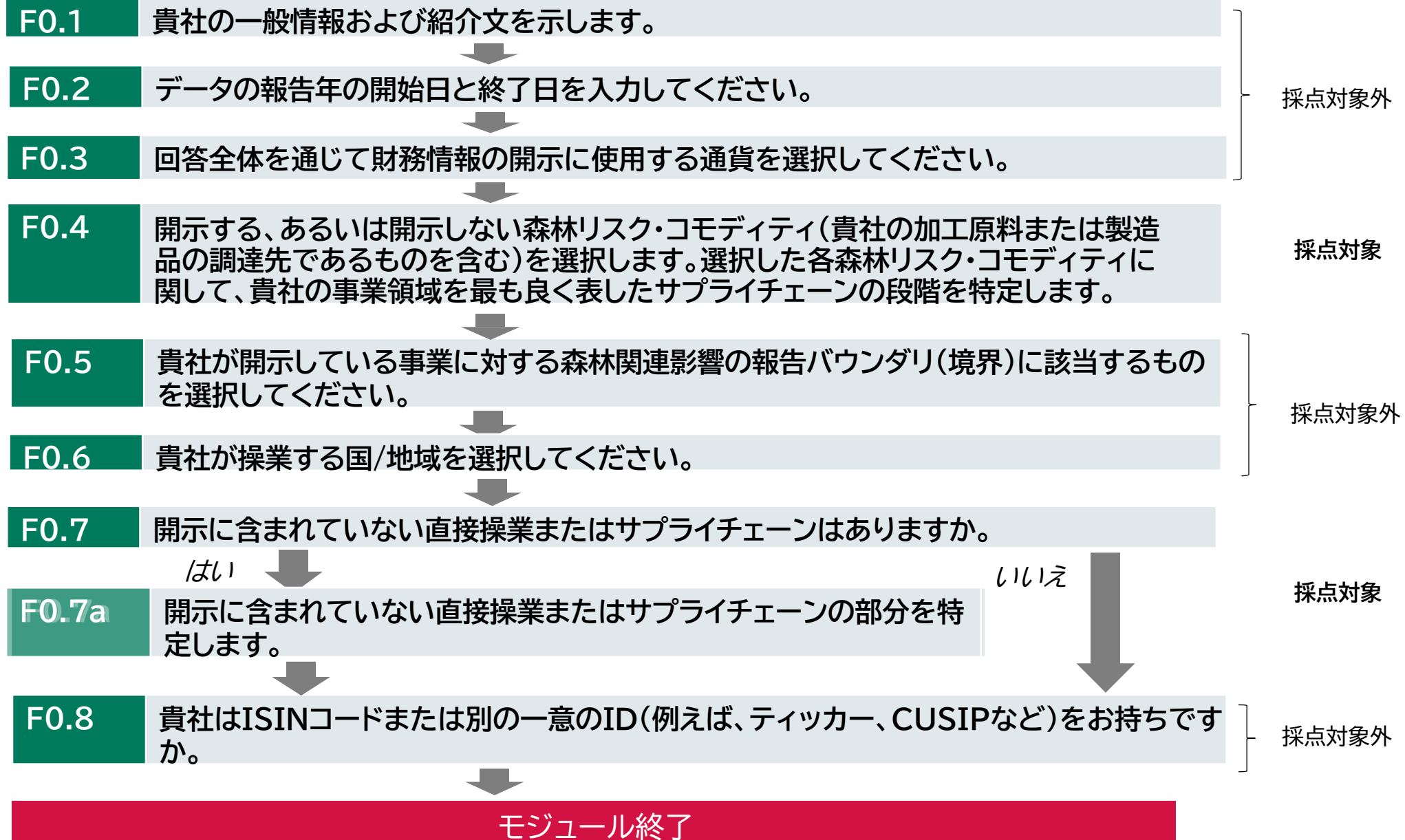
1. 本資料について
 2. フォレスト質問書全体について
 3. フォレスト質問書各モジュールについて
-

CDPフォレスト質問書の概要(完全版／一般セクター)



F0 はじめに	企業概要、報告年、通貨、バウンダリー(報告範囲)、操業国、開示・非開示の森林リスク・コモディティの選択、選択したコモディティのサプライチェーンの段階の選択、除外(開示に含まれていない直接操業及びサプライチェーンの段階の特定)
F1 現在の状況	森林リスク・コモディティへの依存度、コモディティの利用法、供給源・国、調達割合、土地管理、生産中ではない土地所有、データ(生産と消費の量データ、パーム油からのバイオ燃料、森林減少・自然生態系の転換の有無と内訳、供給国・地域別の取扱量)、過去の悪影響、森林減少・自然生態系の転換フットプリント
F2 手順	森林関連のリスクを特定・評価手順の有無・詳細、バリューチェーンマッピング、森林減少・自然生態系の転換の識別分類システム
F3 リスクと機会	森林関連リスクと機会(企業固有の説明、事例)
F4 ガバナンス	取締役会の監督、経営責任、従業員インセンティブ、森林関連課題対応のメインストリーム財務報告書への記載の有無、森林関連方針、森林関連コミットメント
F5 事業戦略	長期的な事業目標、長期的目標達成のための戦略、財務計画における森林関連問題の組み込みの有無・対象期間・詳細(企業固有の説明、事例)
F6 実践	期限付き定量的目標、トレーサビリティシステム、認証、管理システム、ブラジル森林法、法令順守、エンゲージメント(小規模農家、直接・間接サプライヤー)、ランドスケープ/管轄アプローチ、その他の社外活動・イニシアティブ、生態系復元プロジェクト
F7 検証	検証の有無、検証対象となるデータポイントの説明
F8 障壁と課題	バリューチェーンからの森林減少などに向けた取り組みにおける障壁や課題
F17 最終承認	回答の最終承認者の役職と対応する職種

F0 はじめに Introduction



F0.4 開示する、あるいは開示しない森林リスク・コモディティ(貴社の加工原料または製造品の調達先であるものを含む)を選択します。選択した各森林リスク・コモディティに関して、貴社の事業領域を最も良く表したサプライチェーンの段階を特定します。

✓ ここで選択したコモディティがスコアリング対象です

0	1	2	3	4
森林リスク・コモディティ	コモディティの開示	サプライチェーンの段階	組み込み（生産・製造に使用された）コモディティに関する情報を開示していますか。	開示しない場合の説明
木材製品	選択肢: - 開示 - 開示していない - このコモディティは、弊社では生産、調達、あるいは使用されていません。	該当するものをすべて選択: - 生産 - 加工 - 取引 - 製造 - 販売	選択肢: - はい - いいえ、しかし当社には組み込み（生産・製造に使用された）コモディティがあります - いいえ、なぜなら当社には組み込み（生産・製造に使用された）コモディティがないからです - いいえ、なぜなら当社に組み込みコモディティがあるかどうか分からないからです	文章記入欄[最大2,400文字]
パーム油*				
畜牛品*				
大豆*				
その他ーゴム				
その他ーカカオ*				
その他ーコーヒー*				

✓ 自社の事業が複数の段階にわたっている場合は、該当する全てを選択して下さい。

✓ **組み込みコモディティ**とは:最終製品に関連するサプライチェーンや直接操業のどこかで使用されている場合、そのコモディティは「組み込まれた」と見なされます。例えば、消費用に飼育された動物の飼料や、乳製品や卵の生産に使用される大豆、バリューチェーンにおいて使用された燃料用木材など、最終製品に存在しないコモディティも含まれます。

*製紙・林業セクター企業には表示されません

重要！ ここで 開示コモディティとサプライチェーンの段階を選択しないと先の質問に進めません！

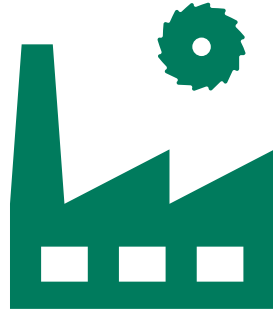


F0.4 開示する、あるいは開示しない森林リスク・コモディティ(貴社の加工原料または製造品の調達先であるものを含む)を選択します。選択した各森林リスク・コモディティに関して、貴社の事業領域を最もよく表したサプライチェーンの段階を特定します。

原材料生産
(例:原木の生産)



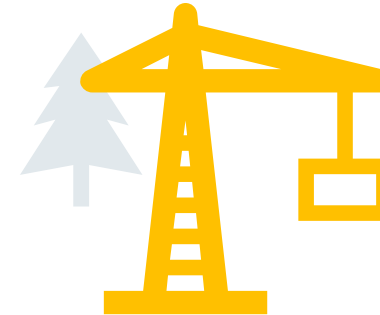
加工
(例:建材に加工)



取引
(例:原木・建材の取引)



製造
(例:建物の建築)



販売(小売)
(例:建物の販売)



原材料の生産地の状況を直接的に把握する

- 原産地のモニタリング
- 原材料生産に関する基準設定
- 生産者との直接協働

原材料の生産地の状況を考慮した調達をする

- コモディティのトレーサビリティ
- 調達基準設定
- サプライヤーとの協働

【Aリスト要件】

F0.7 開示に含まれていない直接操業またはサプライチェーンの部分がありますか。

- 「はい」の場合⇒F0.7aへ ⇒こちらを選択すると、F0.7aに進み、F0.7aのAリスト要件を満たす必要があります。
「いいえ」の場合⇒F1へ ⇒こちらを選択することで、本質問にかかるAリスト要件は満たしたことになります。

【Aリスト要件】

F0.7a 開示に含まれていない直接操業またはサプライチェーンの部分を特定します。

- ✓ F0.7の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。
- ✓ 販売業者は、自社ブランド製品についてのみ報告してください。第三者が所有し、商標を付けた製品は、除くことができます。
- ✓ **直接操業**とは:組織の業務には、コモディティやサービスを生産し、事業の機能を維持する目的で、会社が自ら行うすべての業務が含まれます。これには、組織のビジネスユニット間の内部サプライチェーンが含まれます。例えば、貴社内の事業部門が、貴社内の別の事業部門に部品を供給することは、貴社自身の事業の一部とみなされます。
- ✓ **サプライチェーン**とは:貴社のサプライチェーンは、材料、部品、消耗品、サービスなど、貴社の業務に対するすべての外部からの仕入れから構成されます。サプライチェーンの範囲は、例えば、部品のサプライヤーとその部品を製造するために使用される原材料のサプライヤーなど、複数のレベルの供給に及ぶ場合があります。

F0.7a 開示に含まれていない直接操業またはサプライチェーンの部分を特定します。

1	2	3	4
森林リスク・コモディティ	バリューチェーン上の段階	除外対象	除外の詳細
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: - 直接操業 - サプライチェーン	選択肢: - 国/地理的エリア - 事業活動 - 施設 - 特定の製品ライン - 特定のサプライヤー - 最近行われた合併/買収/売却 - その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大2,400文字]

注:回答行を追加するには、表の下にある[回答行を追加]ボタンを押してください。

認識レベル:

森林関連リスクの可能性がない、またはあるが開示していないを選択し、除外量の割合の数値が選択されていれば最高評価となります。

- ✓ ポイントを獲得するためには、企業は少なくとも1つの行を追加し、その行で関連する森林リスク・コモディティを選択する必要があります。
- ✓ 列が追加されていないコモディティに対して企業がペナルティを受けることはありません。

5	6	7
除外された量の割合	森林関連リスクの可能性	説明してください
選択肢: <1% 1~5% 6~10% 11~20% 21~30% 31~40% 41~50% 51~60% 61~70% 71~80% 81~90% 91~99% 100% - わかりません - 該当なし	選択肢: - 可能性はない - 森林関連リスクの可能性はあるが、評価していない - 森林関連リスクの可能性はあると評価しましたが、CDPに開示しない - わかりません	文章記入欄[最大2,400文字]

リーダーシップレベル:

- ✓ 除外対象の欄で、「最近行われた合併／買収／売却」を選択した場合、合併買収が報告年に起き、且つ、合併買収によるデータが翌報告年に組み込まれることを示す必要があります。
- ✓ それ以外の場合は、企業の操業のかなりの部分を占めるか否かを含め、除外の根拠が示されている必要があります。
- ✓ 以上のいずれかを満たすことで本質問のAリスト要件を満たします。

F1 現在の状況 Current state

F1.1 貴社が回答するコモディティについて、どのように生産／使用／販売していますか。

F1.2 回答する森林リスクコ・モディティに関連する、報告年における貴社の売上の割合を回答してください。

F0.4で[生産]を選んだ場合

F1.3 開示するコモディティの生産のために使用され、貴社が管轄および/または管理する土地地域に関する詳細を記入してください。

F0.4で[生産]を選んだ場合

F1.4 報告年に開示コモディティの生産のために使用されていない、貴社が管轄および/または管理する土地の詳細を記入してください。

F1.5 貴社は、回答するコモディティの生産量や消費量のデータを収集していますか。

消費量データを収集し、開示”、“生産量データを収集し、開示”、“消費量と生産量データを収集し、開示”

F1.5a 貴社の生産および/または消費の数値と、森林減少および/または自然生態系の転換がないと検証されたコモディティ量の割合を開示します。

“データを収集しているが、非開示”

F1.5d なぜ、貴社が、開示したコモディティに関する生産量および/または消費量データを開示しないのですか。

“データを収集していない”

F1.5e なぜ、貴社が、開示したコモディティに関する生産量および/または消費量データを収集していないのですか。

F0.4で[パーム油]を選択した場合

F1.5f 貴社はパーム油に由来するバイオ燃料をどのように生産または消費していますか。

F1 現在の状況 Current state

F1.5b 貴社のサプライチェーンの段階に関連するDCF(森林減少および/または自然生態系の転換がない)量および非DCF量の内訳を、それぞれ検証の獲得方法およびトレーサビリティのレベルに従って回答ください。

F1.5c 開示したコモディティについて、原産地の国および/または地方の法律管轄区域で調達された生産量/消費量の割合を示します。

F1.6 貴社は森林関連の悪影響を被ったことがありますか。

[はい]

F1.6a 貴社が被った森林関連の悪影響の内容と、それへの対応、総合的な財務上の影響について説明します。

[いいえ]

F1.7 過去5年間にわたって、または指定期限以降に、貴社の開示するコモディティに関して貴社が森林減少または転換フットプリントを評価したかを示し、具体的にお答えください。

モジュール終了



F1.1 貴社が回答するコモディティについて、どのように生産／使用／販売していますか。

<回答依頼内容>

0	1	2	3	4	5	6
森林リスク・コモディティ	事業活動	コモディティの形態	発生源	原産地の国/地域	調達コストの割合(%)	コメント
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択: ● 所有/管理している土地 ● 小規模農家 ● 単発契約の生産者 ● 複数契約の生産者 ● 貿易業者/ブローカー/コモディティ市場 ● 契約サプライヤー(加工業者) ● 契約サプライヤー(メーカー) ● その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: [国/地域のリスト] ● 原産地不明	選択肢: ● <1% ● 1~5% ● 6~10% ● 11~20% ● 21~30% ● 31~40% ● 41~50% ● 51~60% ● 61~70% ● 71~80% ● 81~90%	文章記入欄[最大2,400文字]

- 原材料の栽培・生産
- 収穫
- 製粉
- 粉碎
- 精製・加工
- 精製・分別

- 輸出/取引
- 発電用の製造工程への投入物として使用
- 製品製造への投入物として使用
- 建設用に使用
- 製造済み製品の購入
- 配送/包装
- コモディティまたはコモディティを含む製品の個人/法人販売
- 食肉処理 [畜牛品のみ]
- 革なめし [畜牛品のみ]
- 牛脂の精製 [畜牛品のみ]
- その他、具体的にお答えください

木材製品:

- 広葉樹丸太
- 針葉樹丸太
- 製材された木材、ベニヤ、チップ
- 未加工木材ファイバー
- バルブ
- 紙
- 板材、合板、加工木材
- 一次梱包材
- 二次梱包材
- 三次梱包材
- セルロースベースの織物繊維
- 木質バイオエネルギー
- 非再販製品(GNFR)

パーム油*:

- 生鮮果房(FFB)
- 粗パーム油(CPO)
- 粗パーム核油(CPO)
- パーム核粕(PKM)
- 精製パーム油
- パーム油誘導体
- パーム核油誘導体
- パーム由来のバイオディーゼル

畜牛品*:

- 畜牛品
- 牛脂
- 牛肉
- 副産物(例:グリセリン、ゼラチン)
- 皮革
- 牛脂由来のバイオディーゼル

大豆*:

- 未加工の大豆
- 大豆油
- 大豆粕
- 大豆派生品
- 大豆由来のバイオディーゼル

● その他、具体的にお答えください

✓ 3列目(調達先)
✓ 4列目(原産国/原産地)
✓ 5列目(調達支出における割合)
に組み込み(生産・製造に使用された)コモディティが含まれる場合には、その詳細や割合の計算方法を記載ください。



F1.2 回答する森林リスク・コモディティに関連する、報告年における貴社の売上の割合を回答してください。

<回答依頼内容>

森林リスクコモディティ	コモディティに依存する売上の割合	コメント
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティのリスト	選択肢: ・ <1% ・ 1-5% ・ … ・ 91-99 ・ 100% ・ 不明	文章記入欄[最大2,400文字]

✓ 組み込み(生産・製造に使用された)コモディティに関する詳細、その収益の割合の計算方法について開示することが可能です。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[コモディティに依存する売上の割合]を回答している:1点	[コモディティに依存する売上の割合]欄で、[不明]以外の選択肢を選択 - 2点	0	0
配点	1	2	0	0



【Aリスト要件】

F1.3 開示したコモディティの生産のために使用され、貴社が管轄および/または管理する土地地域に関する詳細を記入してください。

＜回答依頼内容＞ F0.4の回答で[生産]を選択した場合のみ、この質問が表示されます

1	2	3	4	5	6
森林リスク・コモディティ	管理方法	国/地域	土地の種類*	面積 (ヘクタール)	認証を受けた土地の割合
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: ● 所有している ● コンセッション/リース ● 初級栽培農家 ● スキーム/プラズマ小規模農家 [パーム油のみ] ● その他の管理方法について詳述してください	選択肢: [国/地域のリスト]	選択肢: ● 管理された自然林 ● 植林 ● その他、具体的にお答えください	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～100の数字を入力]

7	8	9	10	11	12
認証プログラム	報告年中に、過去5年間に、および/または指定期限以降にモニタリングされる自然生態系の転換	報告年中に転換された自然生態系の面積(ヘクタール)*	指定期限以降に転換された自然生態系の面積(ヘクタール)*	過去5年間に転換された自然生態系の面積(ヘクタール)*	説明してください
該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択: ● 報告年中の自然生態系の転換をモニタリングしました ● 指定期限以降の自然生態系の転換をモニタリングしました。期限年を具体的にお答えください ● 過去5年間、自然生態系の転換をモニタリングしました ● 自然生態系の転換をモニタリングしませんでした	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	文書記入欄[最大2,400文字]

- ✓ 企業は、列8で[自然生態系の転換をモニタリングしませんでした]以外を選択することが**Aリスト要件**になります。
- ✓ 企業は、2020年の指定期限以降から、または過去5年間に、変換された総面積を監視し、報告していれば、マネジメントレベルで最高評価となります(参考:[AFiガイダンス](#))。
- ✓ 企業は、転換の有無の記載に加えて、各時間軸「報告年中」、「指定期限以降」、「過去5年間」の転換面積の合計を報告する必要があります。その結果、全て「0」であれば、リーダシップレベルで評価されます。
- ✓ **スキーム／プラズマ小規模農家**とは：土地の運用や生産方法に関する強制力のある決定権、および/または 土地の利用方法、作物の種類、管理方法(土地の整理、管理、資金調達方法)を選択する自由を持たない小農、土地所有者、またはその代理人のことです。

F1.5a 貴社の生産および/または消費の数値と、森林減少および/または自然生態系の転換がないと検証されたコモディティ量の割合を開示します。



<回答依頼内容> F1.5で[消費量データを収集し、開示]、[生産量データを収集し、開示]、または[消費量と生産量データを収集し、開示]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます

1	2	3	4	5	6	7	8
森林リスク・コモディティ	データの種類	コモディティ生産量/消費量	コモディティ生産量/消費量の単位	データ対象範囲	貴社の報告したコモディティ量のいずれかについて森林減少および/または自然生態系の転換がないと検証を受けていますか。	森林減少および/または自然生態系の転換がないと検証された報告量の割合(%)	説明してください
選択肢: F1.5の[...開示]を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: ● 生産量データ ● 消費量データ	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: ● メートルトン ● リットル ● ガロン ● 丸太相当量(RWE) ● 木質原材料相当量 (WRME) ● 立方メートル ● 平方メートル ● その他、具体的にお答えください	選択肢: ● すべてのコモディティ生産量/消費量 ● 一部のコモディティ生産量/消費量	選択肢: ● はい ● いいえ、しかし今後2年以内に森林減少および/または自然生態系の転換がないと検証される予定です ● いいえ、森林減少および/または自然生態系の転換がないと検証される予定はありません	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	文章記入欄[最大2,400文字]

- ✓ マネジメントレベルで評価を受けるには、基本的に二つの行を記載し、[データの種類]欄で[生産量データ]と[消費量データ]の両方の選択肢が選択されている必要があります。
(但し、
 - ーF0. 4のサプライチェーンの段階で[生産]のみを選択している場合は、[生産量データ]の1行だけでOK
 - ーF0. 4のサプライチェーンの段階で、[生産]が選択されていない場合は、[消費量データ]の1行だけでOK)
- ✓ マネジメントレベルで最高評価を受けるには、森林減少・自然生態系の転換がないと検証されたコモディティ量の割合について開示し、[データ対象範囲]欄で[すべてのコモディティ生産量/消費量]が選択されている必要があります([一部のコモディティ生産量/消費量]の場合は部分点あり)。
- ✓ マネジメントレベルで最高評価を受けるとリーダーシップでも最高評価となります。



F1.5b 貴社のサプライチェーンの段階に関するDCF(森林減少および/または自然生態系の転換がない)量および非DCF量の内訳を、それぞれ検証の獲得方法およびトレーサビリティのレベルに従って回答ください。

<回答依頼内容> F1.5aの6番目の列で森林減少および/または自然生態系の転換がない(DCF)生産量/消費量があると回答した企業にのみ表示されます

0	1	DCF	3	4	5	非DCF	7	8	9
森林減少および/または自然生態系の転換がない(DCF)ステータス (コモディティ別)*	森林減少および/または自然生態系の転換リスクがないまたは極めて小さいエリアからのDCF生産量/消費量の割合*	モニタリングシステムを介して検証されたDCF生産量/消費量の割合*	物理的な認証を受けたDCF生産量/消費量の割合*	原産地が不明な非DCF生産量/消費量の割合*	国レベルでのみ追跡可能な非DCF生産量/消費量の割合*	国の地域レベルでのみ追跡可能な非DCF生産量/消費量の割合*	加工施設レベルでのみ追跡可能な非DCF生産量/消費量の割合*	生産施設レベルで追跡可能な非DCF生産量/消費量の割合*	報告された生産量/消費量の合計割合 [自動計算]
木材製品 - DCF	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	自動計算された値
木材製品 - 非DCF									
パーム油 - DCF									
パーム油 - 非DCF									
畜牛品 - DCF									
畜牛品 - 非DCF									
大豆 - DCF									
大豆 - 非DCF									
ゴム - DCF									
ゴム - 非DCF									
カカオ - DCF									
カカオ - 非DCF									
コーヒー - DCF									
コーヒー - 非DCF									

- ✓ コモディティ生産、調達、金融投資を**森林減少・転換なし(DCF: Deforestation- and/or conversion-free)**とみなすには、自然生態系の森林減少・転換を引き起こさない、またはそれに寄与しないことが必要です([AFIの定義](#))。
- ✓ DCFコモディティ量とは、企業が適切な指定期限日以降に、森林減少や転換が全く、または無視できる程度に発生した調達地域まで追跡できる量をいいます。企業は、必要なデューデリジェンスを実施し、信頼できる独立した保証を求めた後にのみ、原材料や製品のDCFステータスを主張できます(詳細はこちらの[AFi](#)、[GHGプロトコル](#)、[SBTi FLAGの共同ガイダンス](#)を参照)。
- ✓ CDPは、原材料や製品がDCFであることを確認するための方法として、Proforestが、AFi、CDP、Traseと共同で開発した[4つのステップ](#)を推奨しています。
- ✓ 情報開示と認識レベルのみで採点されます。全ての枠を埋め、列9の合計割合が[100%](最大±5%)であれば、認識レベルで最高評価となります。



【Aリスト要件】



F1.5c 開示したコモディティについて、原産地の国および/または地方の法律管轄区域で調達された生産量/消費量の割合を示します。

<回答依頼内容>

F1.5で[消費量データを収集し、開示]、[生産量データを収集し、開示]、または[消費量と生産量データを収集し、開示]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます

1	2	3	4	5
森林リスク・コモディティ	原産地の国/地域	州または同等の法律管轄区域	総生産量/消費量のうちの割合	説明してください
選択肢: F1.5の[...開示]を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: ● 森林リスク国のリスト ● その他の国/地域 ● 原産地不明	選択肢: ● 州/同等の法律管轄区域を具体的に答えます ● わかりません ● 開示していない	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	文章記入欄[最大2,400文字]

- ✓ **森林リスク国**とは:本質問書では、現在および/または将来の森林減少リスクに基づいて選択された熱帯・亜熱帯諸国を指します。[GCP, 2019](#); [WWF, 2015](#) & [TFA, 2019](#)に基づきリスト化しています。同リストは右の通り。
- ✓ マネジメントレベルでは、各行の列4[総生産量/消費量のうちの割合]欄に記入された割合の合計が100%(最大±5%)になると最高評価となります(これは**Aリスト要件**です)。森林リスク国が含まれる場合には、質問F1.1の[原産国/原産地]欄で選択された**各森林リスク国に対して1つ以上の行**が追加されている必要があります。
- ✓ マネジメントでの最高評価でリーダーシップポイントの最高評価となります。

Angola, Argentina, Australia, Bolivia (Plurinational State of), Brazil, Cambodia, Cameroon, Central African Republic, Colombia, Congo, Côte d'Ivoire, Democratic Republic of the Congo, Ecuador, Gabon, Ghana, Guatemala, Guinea, Guinea-Bissau, Honduras, India, Indonesia, Kenya, Lao People's Democratic Republic, Liberia, Madagascar, Malaysia, Mexico, Mozambique, Myanmar, Nepal, Nicaragua, Nigeria, Panama, Papua New Guinea, Paraguay, Peru, Philippines, Sierra Leone, Thailand, United Republic of Tanzania, Venezuela (Bolivarian Republic of), Viet Nam, Zambia, and Zimbabwe

【Aリスト要件】

F1.7 過去5年間にわたって、または指定期限以降に、貴社の開示するコモディティに関して貴社が森林減少または転換フットプリントを評価したかを示し、具体的にお答えください。



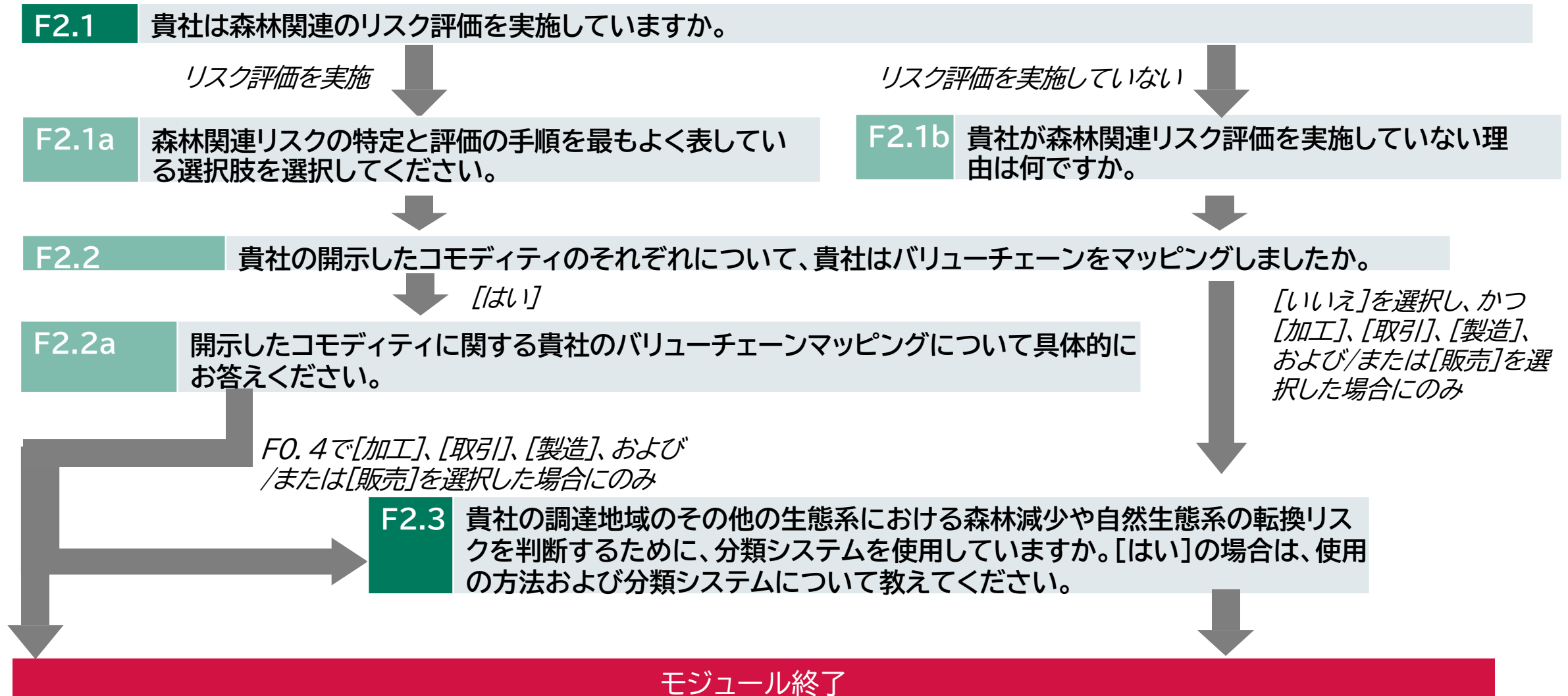
<回答依頼内容> F0.4の回答で[加工][取引]、[製造]、[販売]のいずれかをを選択した場合のみ、この質問が表示されます

1	2	3	4	5	6
森林リスク・コモディティ	貴社は森林減少/自然生態系の転換フットプリントをモニタリングまたは推定しましたか。	対象範囲*	指定期限以降、または過去5年間の森林減少/自然生態系の転換の報告*	既知または推定の森林減少/自然生態系の転換フットプリント(ヘクタール)*	森林減少/自然生態系の転換フットプリントをモニタリングまたは推定するために使用した方法とデータソースを説明してください*
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: ● はい、弊社のサプライチェーンの森林減少/自然生態系の転換フットプリントをモニタリングしています ● はい、調達地域に基づいた森林減少/自然生態系の転換フットプリントを推定しています ● いいえ、しかし今後2年以内に森林減少/自然生態系の転換フットプリントをモニタリングまたは推定する予定です ● いいえ、今後2年以内に森林減少/自然生態系の転換フットプリントをモニタリングまたは推定する予定はありません	選択肢: ● 全消費量 ● 一部の消費量	選択肢: ● 指定期限以降。年を具体的にお答えください ● 過去5年の間に ● その他、具体的にお答えください	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	文章入力欄[最大2,500文字]

- ✓ 同様の質問が、F1.3であり、こちらはサプライチェーン段階で[生産]を選択した企業が回答します。本質問ではそれ以外の企業が対象となります。
- ✓ 列2[貴社は森林減少／自然生態系の転換フットプリントをモニタリングまたは推定しましたか]で、**[いいえ]の選択肢以外**を選ぶ必要があります。こちらは**Aリスト要件**となります。
- ✓ マネジメントレベルで最高評価を受けるには、企業は、2020年以降、または過去5年間の森林減少/転換のフットプリントを監視し、報告する必要があります（参考：[AFiガイダンス](#)）。
- ✓ リーダーシップレベルでは、消費量の全量をモニタリングでカバーすることで最高評価となります。

F2 手順

Procedures



F2 手順

【Aリスト要件】



F2.1a 森林関連リスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択して下さい。

<回答依頼内容> F2.1の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます

5				
森林リスク・コモディティ	バリューチェーン上の段階	対象範囲*	リスク評価手順*	評価の頻度*
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	該当するものをすべて選択: - 直接操業 - サプライチェーン - バリューチェーンのその他の部分 - 該当なし	選択肢: - 全部 - 一部	選択肢: - 確立した全社リスク管理フレームワークの一部として評価した - その他の全社的なリスク評価システムの一部として評価した - 環境リスク評価で評価した - 独立した問題として評価した - その他、具体的にお答えください	選択肢: - 年に複数回 - 年1回 2年に1回 3年に1回かそれ以上 - 特定されていない
6	7	8	9	10
どの程度の将来のリスクまで考慮していますか。*	利用したツールと手法*	考慮した問題*	考慮したステークホルダー*	説明してください*
選択肢: 1年以内 1~3年 3~6年 6年超 - 不明	該当するものをすべて選択: - 社内的な方法 - 社外コンサルタント - グローバルフォレストウォッチプロ - Trase - 持続可能性方針 透明性ツールキット (SPOTT) - Collect Earth - グローバルリスク 評価サービス (GRAS) - 企業向けIBAT - プレファード・バイ・ネイチャー・ソーシング・ハブ (Preferred by Nature Sourcing Hub) - Beef on Track[畜牛品のみ] - Starling - 国内特有のツールやデータベース - 管轄区域/ランドスケープ評価 - その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: - 森林リスク・コモディティの入手可能性 - 森林リスク・コモディティの品質 - 組み込み (生産・製造に使用された) コモディティ - 事業活動による生態系や生息環境への影響 - 規制 - 気候変動 - 水セキュリティへの影響 - 関税または価格上昇 - 市場の喪失 - リーケッジ市場 - 森林リスク・コモディティに関連したブランドダメージ - 汚職・不正 - 社会的影響 - その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: - 顧客 - 従業員 - 投資家 - 地域コミュニティ - NGO - 地域レベルのその他の森林リスク・コモディティの使用者/生産者 - 規制機関 - サプライヤー - その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大2,400文字]

✓ 認識レベルで満点(6点)獲得することは、Aリスト要件の一つです。
i) [対象範囲]欄でいずれかの選択肢、ii) [リスク評価手順]欄で[その他、具体的にお答えください]を除くいずれかの選択肢、iii) [評価の頻度]欄で[特定されていない]を除くいずれかの選択肢、iv) [どの程度の将来のリスクまで考慮しているか]欄で[不明]を除くいずれかの選択肢、v) [利用しているツールと方法]欄で、いずれかの選択肢、vi) [考慮した問題]欄と[考慮したステークホルダー]欄で、[その他お答えください]を除くいずれかの選択肢



F2.2a 開示したコモディティに関する貴社のバリューチェーンマッピングについて具体的にお答えください。

<回答依頼内容> F2.2で[はい]を含む選択肢が選択されている場合にのみ、この質問が表示されます

1	2	3	4	5	6
森林リスク・コモディティ	バリューチェーンマッピングの範囲	選択した層内で対象とされるサプライヤー全体のうちの割合(%)	マッピングプロセスと対象範囲の詳細*	貴社自身の生産と主な加工操業地: 施設名と所在地のリストを添付します(任意)	貴社のサプライヤーの生産と主な加工操業地: 名前と所在地のリストを添付します(任意)
選択肢: F2.2で[はい]を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	該当するものをすべて選択: ● 自社による操業 ● 1次サプライヤー ● 2次サプライヤー ● 3次サプライヤー ● 4次以上のサプライヤー ● 小規模農家 ● 顧客 ● その他、具体的にお答えください	数値記入欄[最大小数点第1位を用いて、0~100の割合を入力]	文章入力欄[最大2,500文字]	[添付機能]	[添付機能]

- ✓ マネジメントとリーダーシップのスコアリングが強化され、2023年質問書からはマッピングの対象となるサプライヤーの割合を評価するようになっています。
- ✓ マネジメントレベルでは、選択した層内で対象とされるサプライヤー全体のうちの割合が90%以上の場合、最高評価となります。なお、質問F0.4の[サプライチェーンの段階]欄で[生産]のみが選択されている場合は、列2の[バリューチェーンマッピングの範囲]欄でサプライヤーの選択肢を選択する必要はありません。
- ✓ リーダーシップレベルでは、質問F2.2の[バリューチェーンマッピング]欄で[はい、バリューチェーン全体をマッピングしました]が選択され、且つ、[選択した層内で対象とされるサプライヤー全体のうちの割合(%)]欄に[100%]が記入されていると最高評価となります。





F2.3 貴社の調達地域のその他の生態系における森林減少や自然生態系の転換リスクを判断するために、分類システムを使用していますか。[はい]の場合は、使用の方法および分類システムについて教えてください。

<回答依頼内容> F0.4で[生産]以外の回答を選択した企業にのみ表示されます

調達地域の森林減少や自然生態系の転換リスクを判断するための分類システムの使用	リスクレベルを分類するために使用している方法*	リスク分類の使用*	各調達地域のリスク分類を示すための添付書類(任意)*
選択肢: - はい、分類システムを使用しています - いいえ、しかし今後2年以内に行う予定です - いいえ、そして今後2年以内に行う予定はありません	文章記入欄[最大4,000文字]	文章記入欄[最大4,000文字]	添付機能]

- ✓ **分類システム**とは： 特定の調達地域に関連する森林減少リスクを評価し、堅固な方法論に基づいて各地域をリスクカテゴリーに分類するシステム。
- ✓ 参考：EU森林減少規制の新たな展開として、欧州委員会はリスク評価または「国別ベンチマーク」の中央データベースを開発しようとしています。この[ベンチマークシステム](#)は、コモディティまたは製品が森林減少に関連するリスクが低い、標準的、または高い国として分類し、デューデリジェンスと管理を支援するものです。
- ✓ 列1で、「はい、分類システムを使用しています」を選択すると、列2「使用方法」や列3「リスク分類の使用」の文章記入の列が現れます。
- ✓ 新規質問のため、情報開示(3点満点)と認識(情報開示が満点の場合1点)のみで採点されます。

F3 リスクと機会 Risks and opportunities

F3.1 貴社事業の財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある固有の森林関連リスクを特定したことがありますか。



F3.1a 貴社では、事業におよぶ財務または戦略面での重大な影響をどのように定義していますか。

F3.1で「はい」を選択



F3.1b 回答する森林関連リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクと、そのリスクへの対応の詳細を記載してください。

F3.1で「いいえ」を選択



F3.1c 財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある森林関連リスクにさらされていると考える理由を回答してください。



F3.2 貴社事業の財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある森林関連機会を特定したことがありますか。

「はい」を選択



F3.2a 選択した森林関連リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を回答してください。

「いいえ」もしくは「機会を特定したが、それを実現できない」を選択



F3.2b 森林関連機会があると考えない理由を記載してください。



モジュール終了

F3.1 貴社事業の財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある固有の森林関連リスクを特定したことがありますか。

「はい」の場合、F3.1aを回答後、⇒F3.1bへ（情報開示1点）
「いいえ」の場合、F3.1aを回答後、⇒ F3.1cへ（情報開示1点）

F3.1a 貴社では、事業におよぶ財務または戦略面での重大な影響をどのように定義していますか。

<回答依頼内容>

記述式回答で、以下の内容を記載する。
●「**重大な影響**」:以下の側面のいずれか、またはその組み合わせ（影響を受ける事業部門数の比率、その事業部門に対する影響の範囲、その事業部門に対する組織の依存度、株主または顧客に懸念が生じる潜在的可能性）
●貴社では、**企業レベル**（直接操業、バリューチェーン、その他の部分かについて記載）（≠ 施設部門レベル／≠事業部門レベルである必要はない）の「**重大な影響**」をどう定義しているかについて、運営、収益・費用、資産・負債、資本配置などの側面に触れながら詳しく説明

●定義の説明では、以下の項目の基準となる閾値を明確に記載する
（大きさ、生じる可能性の高さ、影響の生じる頻度、それらの組み合わせにより、どうなるか）
（但し、事業部門レベルなどの重大な影響が具体的に何か、リスクそのものの詳細についての情報はここでは不要）
●使用した尺度があればそのすべての詳細を記入し、その尺度を見直し・更新する頻度を報告

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	記述すれば1点	採点対象外	i) 重大な影響または戦略的影響の定義と、森林関連リスクの重大な財務上または戦略的な影響を定義するために使用された定量的指標の説明が記入されている:2点	採点対象外
配点	1	0	2	0

F3.1b 回答する森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、そのリスクへの対応の詳細を記入します。

<回答依頼内容(その①)> F3.1で、[はい]を選択した場合のみ表示

森林リスク・コモディティ	リスクの種類	地理的スケール	貴社のバリューチェーンのどこでリスク要因が生じますか。	主なリスク要因	主要潜在的影響	自社固有の内容の説明	期間
① 選択肢: F3.1で[はい]を選択した森林リスク・コモディティのリスト	② 選択肢: ③ ・緊急性の物理的リスク ・慢性の物理的リスク ・規制要因 ・評判および市場要因 ・技術的要因	④ 選択肢: ・全世界 ・地域 ・ ・大農場 ・森林管理単位	選択肢(複数可) ・直接操業 ・サプライチェーン ・バリューチェーンのその他の部分	⑤ 選択肢:	⑥ 選択肢:	⑦ 記述式回答	⑧ 選択肢: ・現在 - 最大1年 ・1~3年 ・4~6年 ・6年より先 不明

潜在的影響の程度	可能性
⑨ 選択肢: ・高い ・やや高い ・ ・低い ・不明	⑩ 選択肢 ・ほぼ確実 ・可能性が非常に高い ・ ・不明

- ・損害の規模と程度の組み合わせ
- ・考慮すべき要因: 影響を受ける事業部門の割合、事業部門に対する影響の大きさ、その事業部門に対する企業の依存度、株主または顧客に懸念が生じる潜在的可能性等

5番目の列で選択したリスク要因の背景情報、その性質と所在地の詳細、貴社にどのように影響が及ぼされているか、二次的な影響を含む**自社固有の説明**

例えば、
1) 貴社が今後4~6年で重大な影響を生じるかもしれないが、リスクが顕在化する可能性はあまり高くないと考えられる森林リスク(森林火災など)→「可能性が低い」かもしれない。2) 法案化された新しい法令に関するリスク→影響が発生する可能性は「非常に可能性が高い」かもしれない。

F3.1b 回答する森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、そのリスクへの対応の詳細を記入します。

<回答依頼内容(その②)>

財務上の潜在的影響額 をご回答いただくこと は可能ですか。	財務上の潜在的影 響額(通貨)*	財務上の潜在的影 響額-最小(通貨) **	財務上の潜在的影 響額-最大(通貨)**	財務上の影響についての説明
⑪ 選択肢(複数可) - はい、単一の推計値 - はい、推定範囲 - いいえ、このデータはありません	⑫ 数値回答	⑬ 数値回答	⑭ 数値回答	⑮ 記述式回答 ・財務影響を算出した手法と、計算の前提条件、財務影響が及ぼされる期間を記入 ・[いいえ、このデータはありません]を選択:相対的な用語で財務上の影響の説明を記入するか、財務上の影響の定性的な推定を記載 ・財務上の影響に関する情報が全くない場合、「財務上の影響を定量化していない」を記入

リスクへの主な対応	対応の詳細	対応の費用	対応の費用についての説明
⑯ 選択肢:	⑰ 記述式回答 対応戦略を導入する期間、対応戦略が、リスクが顕在化するのを防ぐのにどのように効果的であるかを記入	⑱ 数値回答	⑲ 記述式回答 ・費用を算出した手法と、計算の前提条件、財務影響が及ぼされる期間 ・[対応の費用]を回答していない場合、費用の相対的な説明や質的な推定を記入

*⑪の列:[...を回答いただくことは可能ですか。]で[はい、単一の推計値]を選択した場合にのみ表示されます。

** ⑪の列:[...を回答いただくことは可能ですか。]で[はい、推定範囲]を選択した場合にのみ表示されます。

F3.2 貴社の事業の財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある森林関連機会を特定したことがありますか。

はいの場合⇒F3.2aへ（情報開示1点、認識1点）

[はい、機会を特定したが、それを実現できない]⇒F3.2bへ（情報開示1点、認識1点）

[いいえ]の場合⇒F3.2bへ（情報開示1点）

F3.2a 選択した森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を回答してください。

<回答依頼内容>

F3.2で、[はい]を選択した場合のみ表示

森林リスク コモディティ	機会の種類	バリューチェーンのどこで リスク 要因が生じますか。	主な森林 関連機会	自社固有の説明	機会実現までの 推定期間
① 選択肢： F3.2で[はい]を選 択した森林リス ク ・コモディティ の リスト	② 選択肢： ・効率性 ・弾力性 ・市場 ・製品および サービス ・金銭的イン センティブ ・その他	③ 選択肢（複数可） ・ 直接操業 ・ サプライチェーン ・ バリューチェーンのその他の 部分	④ 選択肢：	⑤ 記述式回答 ・貴社に対する実際の、または予期 されるプラスの利益の詳細、例えば 戦略上または財務上の影響の説明な ど。 ・その機会が貴社のどこで発生する か、例えば全社規模、一部の所在地、 地理的規模、事業の部門、または特 定の製品やサービスなど。 ・機会に関する「重大な」影響の定義 にかかる説明。F3.1aで回答した重 大な影響の定義を場合に依じて参照。	⑥ 選択肢： ・現在 - 最大1年 ・1～3年 ・4～6年 ・6年より先 ・不明

前スライドのつづき

F3.2a 選択した森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定された機会の詳細を回答してください。

<回答依頼内容>

潜在的影響の程度	可能性	財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか。	財務上の潜在的影響額(通貨) *	財務上の潜在的影響額-最小(通貨) **	財務上の潜在的影響額-最大(通貨) **	財務上の影響についての説明
選択肢: ・高い ・やや高い ・中程度 ・中程度~低い ・不明	選択肢 ・ほぼ確実 ・可能性が非常に高い : ・不明	選択肢(複数可) ・ はい、単一の推計値 ・ はい、推定範囲 ・ いいえ、このデータはありません	数値回答	数値回答	数値回答	記述形式

*10番目の列[情報提供の可否を問う質問]で[はい、単一の推計値]を選択した場合のみ表示されます。

** 10番目の列[情報提供の可否を問う質問]で[はい、推定範囲]を選択した場合のみ表示されます。

貴社の事業に与える影響がどれくらいか。
・影響の大きさは、その機会自体とその機会が企業全体にどの程度の範囲で当てはまるかの両方の要素を反映したもの(影響を受ける事業部門の割合、事業部門に対する影響の大きさ、株主または顧客の対応の可能性)
・金銭的利益の推定額は、機会を収益に結び付けるためのプロセスを検討する前のもの

- ・ [財務上の潜在的影響](⑩、⑪、⑫の列)に入力した数値を説明
- ・ ⑨の列で[いいえ、このデータはありません]を選択:相対的な用語で(例えば、一般に入手可能な数値に対する比率として)財務上の影響の説明を記入、もしくは財務上の影響の定性的な推定を記載
- ・ 財務上の影響に関する情報がまったくない場合、「財務上の影響を定量化していない」と記入

前スライドのつづき

F3.2a 選択した森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるとして特定された機会の詳細を回答してください。

<回答依頼内容>

機会を実現するための費用	機会を実現するための戦略
⑭ 数値回答	⑮ 記述形式

✓ 2023年質問書より追加されたこの二つの列の内容が、リーダーシップレベルで評価されます。

i) 機会を実現するために講じられた措置の例が、その(実際のもしくは期待された)成果と実施の時間スケールを示しつつ、[機会を実現するための戦略]欄に記入されている - 1ポイント

ii) [機会を実現するための費用]欄に数値が記入されている、且つ、[機会を実現するための戦略]欄に、数値を計算するための方法に関する詳細が記入されている - 1ポイント

• 機会を実現するための費用に関する数値データを記入。
• 費用がかからない場合は0を入力。

• 貴社で、その機会を有利に活用するために実施中または計画中の戦略について、現在その行動を実施中か、開発中かを記入、可能であれば、**実施中の戦略の事例**を記載。

F4 ガバナンス Governance

F4.1 貴社内で森林関連の問題の取締役会レベルの監督がありますか。

はい



F4.1a 取締役会における森林関連問題の責任者の職位を特定します（個人の名前は含めないでください）。



F4.1b 森林関連問題に対する取締役会の監督に関する詳細を記入します

はい



F4.1d 貴社では、森林関連の問題に精通した取締役を一人以上置いていますか。



F4.2 森林関連問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会を記入します（個人の名前は含めないでください）。



F4.3 森林関連問題の管理に関して、経営幹部レベルまたは取締役にインセンティブを付与していますか。

はい



F4.3a 森林関連問題の管理に関して、経営幹部または取締役にどのようなインセンティブを付与していますか。（ただし個人の名前は含めないでください）

はい



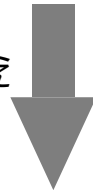
F4.4 貴社は、森林関連リスクへの対応に関する情報を直近のメインストリームの財務報告書に含めましたか。

いいえ



F4.1c 森林関連問題に対して取締役会レベルの監督がない理由および今後変更する予定について回答してください。

いいえ



F4 ガバナンス Governance

F4.5 貴社には、森林関連問題を考慮した方針がありますか。

はい、文書化した森林に関する企業
方針があり、公開している
はい、文書化した森林に関する企業
方針があるが、公開していない

いいえ、しかし今後2年
以内に作成する予定
いいえ

F4.5a 貴社の方針の適用範囲と内容について説明する選択肢を選択します。

F4.6 貴社は、直接操業および/またはサプライチェーンからの森林減少および/または森林劣化を削減または排除するコミットメントを掲げていますか。

はい

いいえ

F4.6a 貴社は、森林減少および/または森林劣化を削減または排除するコミットメントの一部として、以下のイニシアチブのいずれかを支援しましたか。

F4.6b 貴社のコミットメントの詳細を、具体的な基準、対象範囲、アクションの内容を含めて記入します。

モジュール終了

F4.4 貴社は、森林関連リスクへの対応に関する情報を直近のメインストリーム財務報告書に含めましたか。

[はい](任意で報告書を添付していただけます)(情報開示1点、認識1点)

[いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定](情報開示1点、認識1点)

[いいえ、またその予定もない](情報開示1点)

✓ マネジメント及びリーダーシップレベルは採点対象外です

✓ **メインストリームの財務報告書**とは：有価証券報告書、事業報告書、ディスクロージャー誌(金融機関)など、法律で作成が義務付けられている財務情報を記載した報告書のことです。自主的に作成している、統合報告書、サステナビリティレポート等は該当しません。



【Aリスト要件】

F4.5 貴社には、森林関連の問題を考慮した方針がありますか。

方針がある場合⇒F4.5aへ

[はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開している](情報開示1点、認識1点、マネジメント1点)

[はい、文書化した森林に関する企業方針があるが、公開していない](情報開示1点、認識1点)

方針がない場合⇒F4.6へ

[いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定](情報開示1点、認識0.5点)

[いいえ](情報開示1点)

✓ そのタイトルを問わず、森林問題を単独で扱った方針文書、森林問題に関する全社規模の方針が示された『持続可能性に関する方針』などでOK。一方、サプライヤー行動規範、農業関連方針、環境基準、調達方針等での一部言及は不可。

✓ [はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開している]を選択することが、**Aリスト要件**です。

【Aリスト要件】

F4.5a 貴社の方針の適用範囲と内容について説明する選択肢を選択します。

＜回答依頼内容＞ F4.5の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

1	2	3	4	5
スコープ	対象コモディティ	内容	添付書類	説明してください
選択肢: - 全社的 - 選択した施設、事業、または地理的場所のみ - 選択した製品のみ	該当するものをすべて選択: - 全コモディティを対象とした森林に関する一般方針 - 畜牛品 - パーム油 - 大豆 - 木材製品 - その他－カカオ - その他－コーヒー - その他－ゴム	該当するものをすべて選択してください: - 自然生態系の転換を中止にする誓約 - 焼畑または皆伐による土地開墾を行わないコミットメント - 森林減少を撲滅するコミットメント - 森林減少ゼロ、泥炭地緑化なし、搾取なし (NDPE) に対する誓約 - 先住民と地域社会の自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意 (FPIC) - 国連国際労働機関原則の採用 - 修復、復元、および/または過去の危害に対する補償に関するコミットメント - 土壌と泥炭に対する最良の管理方法に対するコミットメント - 環境問題に取り組むために自身のサプライチェーンの範囲を超えた措置を講じるコミットメント - 自身の操業とサプライチェーンにおける社会問題と環境問題の両方を解決するコミットメント - 地域社会の権利と生計を守るコミットメント - 規制順守にとどまらない、それ以上のコミットメント - 透明性に関するコミットメント - ステークホルダーの啓発とエンゲージメントに対するコミットメント - SDGsと整合するコミットメント - 森林とその他の自然生態系の全般的な重要性の認識 - 事業が森林に依存していることの説明 - 森林とその他の自然生態系に対する潜在的な事業影響の認識 - 方針の対象となっている森林リスク・コモディティ、事業の一部、およびバリューチェーンの段階の説明 - 期限を定めたマイルストーンと目標のリスト - 直接操業の森林関連実績基準の説明 - 調達の森林関連基準の説明 - その他、具体的にお答えください	添付機能	文章記入欄[最大2,400文字]

Aリスト要件を満たすには、

- ✓ 除外がないことを示すため、[スコープ]の欄で、**[全社的]**を選択するか、
- ✓ [全社的]以外を選択する場合には、**除外の根拠**とそれぞれの除外が占める**コモディティ量の割合**を[説明してください]の欄に示す必要があります。

Aリスト要件を満たすには、

- ✓ [内容]の欄で、以下の1つ以上を選択する必要があります:
 - **[自然生態系の転換を中止にするコミットメント]**
 - **[森林減少を撲滅するコミットメント]**
 - **[森林減少ゼロ、泥炭地の作付けなし、搾取なし(NDPE)に対するコミットメント]**

【Aリスト要件】

F4.6 貴社は、直接操業および/またはサプライチェーンからの森林減少および/または森林劣化を削減または排除するコミットメントを掲げていますか。

[はい]の場合⇒F4.6a, bへ（情報開示1点、認識1点）

[いいえ]の場合⇒F5モジュールへ（情報開示1点）

✓ ここで、**[はい]**を選択することが**Aリスト要件**となります。

F4.6a 貴社は、森林減少および/または森林劣化を削減または除去する公開のコミットメントの一部として、以下のイニシアチブのいずれかに賛同しましたか。

＜回答依頼内容＞

F4.6の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

以下の選択肢から該当するものを全て選択

- 森林に関するニューヨーク宣言
- Tropical Forest Alliance 2020 (TFA: 熱帯森林同盟2020)
- We Mean Business
- セラード・マニフェスト
- 大豆モラトリウム
- 家畜協定(TAC)
- 中国持続可能な食肉宣言
- Compromiso Gran Chaco Argentino 2030
- ファッション協定
- その他 具体的にお答えください

- ✓ 広く知られ公になっているイニシアチブに賛同することで、森林スチュワードシップのベストプラクティスを反映し、森林関連の企業行動に関してデータ利用者の需要を満たすことになります
- ✓ 社内向けまたは非公開のコミットメントについてはここでの回答に含まれません。
- ✓ [その他、具体的にお答えください]を選択した場合、イニシアチブを簡潔に記入します。

【Aリスト要件】

※最新・正式なバージョンは、ウェブサイトより英語版を確認してください。

F4.6b 貴社のコミットメントの詳細を、具体的な基準、対象範囲、アクションの内容を含めて記入します。

<回答依頼内容>

F4.6の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

1	2	3	4	5
森林リスク・コモディティ	基準	対象事業範囲	生産量/消費量のうちコミットメントの対象となる割合	期限
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	選択肢: ● 直接操業 ● サプライチェーン ● 直接操業とサプライチェーン ● 選択した施設、事業、または地理的場所のみ	選択肢: ● <1% ● 1~5% ● 6~10% ● 11~20% ● 21~30% ● 31~40% ● 41~50% ● 51~60% ● 61~70% ● 71~80% ● 81~90% ● 91~99% ● 100%	選択肢: ● 1987年よりも前 ● 1987~1992年 ● 1993~1997年 ● 1998 ● 1999 ● 2000 ● 2001 ● 2002 ● 2003 ● 2004 ● 2005 ● 2006 ● 2007 ● 2008 ● 2009 ● 2010 ● 2011 ● 2012 ● 2013 ● 2014 ● 2015 ● 2016 ● 2017 ● 2018 ● 2019 ● 2020年 ● 2021年 ● 2022年 ● 該当なし ● 期限なし

環境的基準

- 自然生態系の転換なし
- 総森林減少ゼロ/森林減少なし
- 森林減少のネットゼロ
- 深さに関わらず、泥炭に対する新規開発なし
- 泥炭に対する既存の耕作に関する最良管理手法 [パーム油のみ]
- 過去の森林減少および転換に対処するための復元および補正
- 絶滅危惧種と保護種や生息環境に対する悪影響の回避
- ワシントン条約での規制対象種の取引なし
- 焼畑または皆伐による土地開墾なし
- 高保全価値地域の転換なし
- 高炭素貯蔵林の転換なし
- 共通の持続可能な土地利用目標を進展させるために景観/法律管轄区域で協力する
- ランドスケープ復元と自然生態系の長期保護を支援する自然に根ざした解決策の実施

✓ **指定期限(期限)**とは:森林減少・自然生態系の転換を許容しないとする年を意味します。

✓ **Aリスト要件**を満たすには、[基準]欄で[自然生態系の転換なし]または[総森林減少ゼロ/森林減少なし]の少なくとも1つを選択すること(木材製品については、[森林減少ネットゼロ]も可)が必要です。

✓ 認識レベルの採点基準の一つに、[指定期限]が**2020年以前**であることが含まれています(参照:[AFiガイダンス](#))。

F4.6b 貴社のコミットメントの詳細を、具体的な基準、対象範囲、アクションの内容を含めて記入します。

<回答依頼内容> F4.6の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

6	7	8	9
期限が適用される森林リスクの国/地域	期限を選択した理由	コミットメント目標日	説明してください
該当するものをすべて選択: - 世界全体で適用される - 森林リスク国のリスト - その他の国/地域	選択肢: - セクター全体での合意/推奨事項 - 地域全体での合意/推奨事項 - サプライヤーのコミットメントと一致している - 法的要件 - イニシアチブを順守している場合は、具体的にお答えください - コミットメントに固有 - その他、具体的にお答えください	選択肢: 2017年以前 2017 2018 2019 2020年 2021～2025年 2026～2030年 2031年以降 - 目標日なし	文章記入欄[最大4,000文字]

✓ **目標年(コミットメント目標日)**とは:
森林減少なし・自然生態系の転換なしの
コミットメントを実現する年を意味します。

- ✓ さまざまなコミットメントに異なる目標日が設定されている場合、貴社の主な森林関連のコミットメント目標日を示し、[説明してください]欄に、それ以外のコミットメントの期限やその根拠、また指定期限がない場合はその理由を説明します。
- ✓ リーダーシップレベルで評価されるための要件は以下の通りです。
 - 総生産量/消費量のうち**コミットメントの対象となる割合が100%**
 - **コミットメント目標日が2025年以前**であること
- ✓ リーダーシップレベルで最高評価を得るには以下の内容が記載されていることが必要です:
 - i) **[自然生態系の転換なし]**および/または**[総森林減少ゼロ/森林減少なし]**(木材製品に関しては**[森林減少ネットゼロ]**の選択も可)を選択
 - ii) **[先住民と地域社会の自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)の確保]**を選択
 - iii) **[過去の森林減少および/または転換に対処するための復元および補正]**を選択
 - i)+ii)+iii)それぞれのコミットメントについてそれらを順守するために**報告年に実施した措置の事例(地理的情報を含む)**

F5 事業戦略 Business strategies

F5.1 森林関連問題は、貴社の長期戦略的事業計画に何らかの形で組み込まれていますか。もしそうであれば、どのように組み込まれていますか。



モジュール終了

F5.1 森林関連の問題は、貴社の長期戦略的事業計画に何らかの形で組み込まれていますか。もしそうであれば、どのように組み込まれていますか。

<回答依頼内容>

戦略の側面	森林関連問題が組み込まれていますか。	長期的な対象期間(年)	説明してください
長期的な事業目標	選択肢 - はい、森林関連問題が組み込まれている - いいえ、森林関連問題について調査したが、戦略的に 関連性がある/重要であるとは認識しなかった - いいえ、森林関連問題をまだ調査していないが、今後2年以内に実施予定 - いいえ、森林関連問題を調査せず、実施予定もない	選択肢 5-10 11-15 16-20 21-30 30超	記述式回答 ✓ 認識レベルでは、森林関連問題が検討されたか否かが評価されます(今後2年以内に検討する選択肢は2023年からは基準を満たしません) ✓ マネジメントレベルで最高評価でリーダーシップレベルで最高評価となります。マネジメントレベルでの評価項目は以下の通り: i) [長期的な事業目的(目標)]:少なくとも1つ以上の森林関連の長期目標、且つ、達成のための時間軸の説明(2023年から事例の記載は不要となりました) ii) [長期的目標達成のための戦略]:長期目標の達成戦略(森林関連行動の具体的な時間的情報(dates)および事例(example(s))の言及を含む)についての記載 iii) [財務計画]:企業の長期目標および/または戦略を達成するために使用される財務計画項目(例: 投資、資産、財務上の決定)(時間的情報(dates)の言及を含む)の記載
長期的目標達成のための戦略			
財務計画			

森林関連問題とは:
1)貴社の直接操業とサプライチェーンからの森林減少及び生態系転換の排除または削減
2)貴社の直接操業とサプライチェーンでの生態系復元／保護の促進
3)森林リスク・コモディティの持続可能な生産／消費の増加
(市場機会・企業方針・コミットメントにかかる社内外での検討事項を含む)

F6 実践

Implementation

F6.1 開示したコモディティの持続可能な生産および/または消費を増やすためのもので、報告年において有効だった、期限を定めた定量的な目標を持っていたか。

はい

いいえ

F6.1a 開示したコモディティの持続可能な生産および/または消費を増やすためのもので、期限を定めた定量的な目標と、目標達成に向けた進捗の詳細を記入します。

F6.1b なぜ、開示したコモディティの持続可能な生産量および/または消費量を増やす目標がないのか、そして将来目標を設定する予定の内容はどのようなものか。

F6.2 開示したコモディティの原産地を追跡、監視するために導入しているトレーサビリティシステムがありますか。

はい

いいえ

F6.2a 開示したコモディティについての、貴社がお持ちのトレーサビリティのレベルの詳細を記入します。

F6.2b なぜ、開示したコモディティの原産地を追跡および監視するために導入しているトレーサビリティシステムがないのか、そして将来導入する計画はどのような内容か。

F6.3 開示したコモディティについて第三者認証を採用していますか。

F6.3a 認証スキームを受けた貴社の生産および/または消費の量と割合の詳細内訳を記入します。

F6 実践

Implementation

※最新・正式なバージョンは、ウェブサイトより英語版を確認してください。

F4.5 および/またはF4.6で、「はい」を選択

F6.4 開示したコモディティについて、自然生態系の転換および/または森林減少なしのコミットメントの順守を管理、監視、または検証するためのシステムをお持ちですか。

[はい]を選択

[はい]以外を選択

F6.4a [自然生態系の転換および/または森林減少なし]のコミットメントを実践するためのシステム、順守を監視するために使用される手法、定量的進捗、不順守プロトコルに関する詳細を記入します。

F1.1の「国/地域」で、ブラジルを選択し、かつ F0.4で、[生産]、[加工]、及び/または[取引]を選択

F6.5 開示したコモディティに関して、ブラジル森林法の貴社自身の順守および/またはサプライヤーの順守に関するデータを収集しているかを説明してください。

F1.1の回答で[供給源の国/地域]として以下のうちのいずれかを選択: アンゴラ、アルゼンチン、オーストラリア、ボリビア、ブラジル、カンボジア、カメルーン、中央アフリカ共和国、コロンビア、コンゴ、コートジボワール、コンゴ民主共和国、エクアドル、ガボン、グアテマラ、ギニア、ギニアビサウ、ホンジュラス、インド、インドネシア、ケニア、ラオス人民民主共和国、リベリア、マダガスカル、マレーシア、メキシコ、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニカラグア、ナイジェリア、パナマ、パプアニューギニア、パラグアイ、ペルー、フィリピン、シエラレオネ、タイ、タンザニア連合共和国、ベネズエラ・ボリバル共和国、ベトナム、ザンビア、ジンバブエ

F6 実践 Implementation

※最新・正式なバージョンは、ウェブサイトより英語版を確認してください。

F6.6 開示したコモディティに関して、森林規制および/または必須基準の貴社自身の順守および/またはサプライヤーの順守を評価しているかどうかを示してください。

F6.6の回答で[はい、サプライヤーから]、[はい、サプライヤーおよび/または所有した土地から]、または[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]を選択

F6.6a 開示したコモディティについて、森林規制および/または必須基準の法令順守をどのように確保しているかを示してください。

左記以外を選択

F6.7 農業のグッドプラクティスを支援し、森林減少および/または自然生態系の転換を削減するために小規模農家と協力していますか。

F0.4で、[加工]、[取引]、[製造]、および/または[販売]を選択

F6.8 森林関連方針、コミットメント、およびその他の要(件)を順守するために、直接サプライヤーの生産能力を支援し、向上させるように直接サプライヤーとエンゲージメントを行っていますか。

F0.4で[取引]、[製造]および/または[販売]を選択

F6.9 森林減少リスクを管理および緩和するために一次サプライヤーを超えてエンゲージメントを行っていますか。

F6.10 共有した持続可能な土地利用ゴールを進展させるためにランドスケープ(管轄を含む)アプローチで協働していますか。

[はい]が入った回答を選択

[いいえ]が入った回答を選択

F6.10a 持続可能な土地利用に対する協調アプローチでのエンゲージメントに関してランドスケープと管轄の優先順位を決める際に貴社が検討する基準について説明してください。

F6.10b 報告年中に持続可能な土地利用に対するランドスケープ/管轄アプローチによる貴社のエンゲージメントを具体的にお答えください。

F6.10c 貴社が開示するコモディティごとに、エンゲージメントを行う各ランドスケープ/管轄区域からの生産量/消費量の詳細を教えてください。

F6.11 貴社の森林関連方針とコミットメントの実行を促進するために、その他の社外の活動および/またはイニシアチブに参加していますか。

F6.12 貴社は、生態系復元や保護に焦点を合わせたプロジェクトを支援または実施していますか。

[はい]

[いいえ]

F6.12a プロジェクトの規模、期間、およびモニタリング頻度に関する詳細を記入します。評価した成果を詳述してください。

モジュール終了

【Aリスト要件】

F6.1 開示したコモディティの持続可能な生産および／または消費を増やすためのもので、報告年において有効だった期限を定めた定量的な目標を持っていましたか。

[はい]の場合⇒F6.1aへ（情報開示1点、認識1点）

[いいえ]の場合⇒F6.1bへ（情報開示1点）

✓ [はい]を選択することはAリスト要件です。

F6.1a 開示したコモディティの持続可能な生産および/または消費を増やすためのもので、期限を定めた定量的な目標と、目標達成に向けた進捗の詳細を記入します。

1	2	3	4	5	6	7	8
目標参照番号	森林リスク・コモディティ	目標導入年	目標の対象範囲	目標のカテゴリー	単位	トレーサビリティ地点*	第三者認証スキーム*
選択肢: ● 目標1～20	選択肢: ● パーム油 ● 木材製品 ● 畜牛品 ● 大豆 ● その他－ゴム ● その他－カカオ ● その他－コーヒー ● コモディティに固有ではない	数値記入欄[1900～2023の数字を入力]	選択肢: ● 全社的 ● 事業部門 ● 事業活動 ● 操業地/施設 ● 国/地域/リージョン ● 商品レベル ● その他、具体的にお答えください	選択肢: ● トレーサビリティ ● 第三者認証 ● 小規模農家とのエンゲージメント ● 直接サプライヤーとのエンゲージメント ● 間接サプライヤーとのエンゲージメント ● 所有または管理している加工施設の実績 ● サプライチェーンにおける加工施設の実績 ● ランドスケープ/管轄区域におけるエンゲージメント ● 自然生態系の復元と保護 ● 資源利用および効率性 ● その他、具体的にお答えください	選択肢: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	選択肢: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト

✓ 認識レベルの採点基準の留意点:列2の[森林リスク・コモディティ]欄で、少なくとも一つのコモディティを選択してください。
[コモディティ固有ではない]のみが選択されると、認識ポイントは0になります。

✓ マネジメントレベルの採点基準の留意点:

ー列5の[目標のカテゴリー]欄で[トレーサビリティ]を選択すると、列7[トレーサビリティ地点]が現れます。ここでは、[国]、[州または同等の法律管轄区域]、[地方自治体または同等の法律管轄区域]、[最初の輸入者]以外を選択する必要があります。但し、F0.4の[サプライチェーンの段階]欄で[販売]および/または[製造]のみが選択されている場合は、[トレーサビリティ地点]欄で [国]と[最初の輸入者]を除くいずれかの選択肢が選択できます。

ー列5の[目標のカテゴリー]欄で[第三者認証]を選択すると、列8[第三者認証スキーム]が現れます。ここでは、[RTRS クレジット]、[RSPO ブック・アンド・クレーム(B&C)]、[その他、具体的にお答えください]以外を選択する必要があります。

前スライドのつづき

【Aリスト要件】

F6.1a 開示したコモディティの持続可能な生産および/または消費を増やすためのもので、期限を定めた定量的な目標と、目標達成に向けた進捗の詳細を記入します。

＜回答依頼内容＞ F6.1の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます

9	10	11	12	13	14	15	16	17
基準年	基準年の数値	目標年	目標年の数値	報告年の数値	基準年に対して達成された目標の割合[自動計算]	報告年の目標の状況	この目標はコミットメントと関連したものですか。	説明してください
数値記入欄[小数点を用いずに、1900～2023の数字を入力]	数値記入欄 [最大小数点第2位までを用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	数値記入欄[小数点を用いずに、2018～2100の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	[割合記入欄]	選択肢: - 新規 - 設定中 - 達成済み - 有効期限切れ - 改訂 - 置き換えた - 取り下げた	選択肢: - 森林減少のネットゼロ(net)/総森林減少ゼロ (gross) - 自然生態系の転換なし - その他の環境コミットメント - 社会的コミットメント - 特定のコミットメントとの関連付けなし	文章記入欄[最大2,400文字]

- ✓ 認識レベルの採点基準の留意点:列16の[コミットメントとの関連性]については、**[総森林減少ゼロ/森林減少ネットゼロ]**または**[自然生態系の転換なし]**のいずれかを選択する必要があります。これがAリスト要件です。
- ✓ マネジメントレベルの採点基準の留意点:列17で説明する内容においては、対象範囲の根拠と目標の数値が記載され、且つ、これが列4[目標の対象範囲]欄と列12[目標年の数値]欄での選択肢と矛盾がないようにする必要があります。
- ✓ リーダーシップレベルの採点基準の留意点:
 - F4.6b(コミットメント)のマネジメントレベルのポイントが6以上である必要があります(回答の整合性確認のため)
 - **[目標年]欄に2025年以前の年**が入力され、且つ 以下の式が満たされている必要があります:
[基準年に対して達成された目標の割合[自動計算]]
$$\geq ((\text{質問F0.2の[終了日]欄の年} - \text{列9[基準年]}) / (\text{列11[目標年]} - \text{列9[基準年]})) * 100$$

【Aリスト要件】

F6.2 開示したコモディティの原産地を追跡、監視するために導入しているトレーサビリティシステムがありますか。

【はい】の場合⇒F6.2aへ 【いいえ】の場合⇒F6.2bへ

0	1	2	3	4	5
森林リスク・コモディティ	導入しているシステムはありますか。	サプライチェーンの対象範囲*	トレーサビリティシステムの内容	除外	除外の詳細
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: • はい • いいえ	選択肢: • 直接サプライヤーからの量のみ • 直接および間接サプライヤーからの量	文章記入欄[最大2,400文字]	該当するものをすべて選択: • 国/地理的エリア • 事業活動 • 施設 • 特定の製品ライン • 特定のサプライヤー • 該当なし • その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大2,400文字]

- ✓ 認識レベル採点基準の留意点:列1 [導入しているシステムはありますか。]欄で選択肢【はい】が選択されている必要があります。これはAリスト要件です。
- ✓ マネジメント採点基準の留意点:
 - [サプライチェーンの対象範囲]欄が適用される場合、[直接および間接サプライヤーからの量]が選択されている、または [直接サプライヤーからの量のみ]が選択され、且つ、[トレーサビリティシステムの内容]欄に[企業には間接サプライヤーがない]旨の記載がある必要があります。
 - 【除外項目】欄で、【該当なし】が選択されている、または トレーサビリティシステムから除外されるものの説明(除外根拠、消費量/生産量における除外項目が占める割合を含む)が[除外の詳細]欄に記載されている必要があります。これはAリスト要件です。
 - [トレーサビリティシステムの内容]欄で、コモディティのトレーサビリティを確保できる地点まで遡って森林リスク・コモディティを追跡するために使用された方法の説明が記入されている必要があります。
 - なお、本質問は最高評価のポイントが2点ですが、質問F6.2aで付与されたマネジメントポイントが0ポイントである場合(トレーサビリティ地点が十分でない場合)、最大1ポイントのみ獲得可能です。

【Aリスト要件】

F6.2a 開示したコモディティについての貴社がお持ちのトレーサビリティのレベルの詳細を記入します。

<回答依頼内容> F6.2の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます

森林リスク・コモディティ	コモディティのトレーサビリティを確保できるポイント	このトレーサビリティポイントが適用される国/地域*	総生産量/消費量のうちトレーサビリティを確保している割合
選択肢: ● F6.2で[はい]を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択: ● 国/地域のリスト	数値記入欄[0~100の数字を入力]

全般 ● 国 ● 州または同等の法律管轄区域 ● 地方自治体または同等の法律管轄区域 ● 追跡不可能 木材製品 ● 森林管理単位 ● 加工場 ● 植林 パーム油 ● 加工場 ● 粉砕施設 ● 大農場 ● 精油所 ● 最初の輸入者 [販売業者と製造者のみ]	畜牛品 ● 皮なめし工場 ● 食肉処理場 ● 繁殖農場 ● 飼育農場 ● 肥育農場 大豆 ● 農地 ● 加工場 ● 粉砕施設 ● 大農場 ● 精油所 ● 最初の輸入者 [販売業者と製造者のみ] その他 - ゴム/カカオ/コーヒー ● 農地 ● 加工場 ● 大農場
--	--

- ✓ 複数のレベルのトレーサビリティがある場合、トレーサビリティレベルごとに新しい行を追加します。例えば、サプライチェーンで異なるレベルのトレーサビリティのあるさまざまな地域から大豆を調達している場合、サプライチェーンでのトレーサビリティのそれぞれの割合を知らせるために行を追加できます(例えば、[農場]レベルに50%、[国]レベルに30%、[追跡不可能]に20%、といった記載になります)。
- ✓ リーダーシップレベル採点基準の留意点:
 - [総生産量/消費量のうちトレーサビリティを確保している割合(%)]欄で報告した数値が合計100%(最大±5%)になる必要があります。
 - 質問F0.4の[サプライチェーンの段階]欄での選択によって、追跡が求められるトレーサビリティ地点が異なります(例えば、[販売]および/または[製造]のみを選択している企業は、[州または同等の法律管轄区域]、[地方自治体または同等の法律管轄区域]までの追跡で許容されます)。
 - **[総生産量/消費量のうちトレーサビリティを確保している割合(%)]**欄で報告した数値が**合計90%超**になる必要があります。これは**Aリスト要件**です。

【Aリスト要件】

F6.3 開示したコモディティについて第三者認証を採用していますか。

<回答依頼内容>

森林リスク・コモディティ	第三者認証スキームが採用されていますか。	総生産量および/または消費量のうち認証を受けた量の割合
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: - はい - いいえ、このコモディティに対しては第三者認証スキームを採用していません	数値記入欄[0～100の数字を 入力]

- ✓ [第三者認証スキームが採用されていますか]の欄で、[はい]を選択すると認識レベルで最高評価となります。
- ✓ [総生産量および／または消費量のうち認証を受けた量の割合]の欄では、貴社で生産および／または消費されるコモディティの総量のうち、第三者認証スキームを採用した量の割合を記載します。この数値が、
 - 70%以上の場合はマネジメントレベルで最高評価、
 - 90%以上の場合はリーダーシップで最高評価となります。**Aリスト要件**としては、70%以上であることが求められます。

F6.3a 認証システムを受けた貴社の生産および／または消費の量と割合の詳細内訳を示します。

<回答依頼内容> 質問F6.3の少なくとも1つの行に対する[第三者認証スキームが採用されていますか。]欄で[はい]を選択している場合にのみ、この質問が表示されます

1	2	3	4	5
森林リスク・コモディティ	第三者認証スキーム	使用される加工・流通過程管理モデル*	総生産/消費量のうち認証を受けた量の割合*	コモディティの形態*
選択肢: F6.3で[はい]を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	選択肢: ● アイデンティティ・プリザーブド (IP) ● セグリゲーション (SG) ● マスバランス (MB) ● 認証取引 ● 該当なし	数値記入欄[0~100の数字を入力]	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト

- ✓ **加工・流通過程管理モデル(Chain-of-custody(CoC) model)**とは:検証された生産単位と最終製品に関する主張との間の(物理的または管理的)関連性を示すために取られたアプローチを説明するために使用される用語([ISEAL](#)、2022年)。森林管理を認証する「森林管理(FM: Forest Management)認証」に対して、その認証森林から産出された林産物の適切な加工・流通を認証する制度が「CoC認証」です([林野庁森林認証取得ガイド](#))。
- ✓ 第三者認証スキームの中に、[FSC(すべての種類)]等、「すべての種類」が付いた選択肢がありますが、各第三者スキーム毎の量を特定できない場合などにとる選択肢です。特定できる場合には、各スキーム毎に量を記載ください。
- ✓ マネジメントレベル採点基準の留意点:
 - 列2で選択する第三者認証スキームによっては、[使用される加工・流通過程管理モデル]欄で選択が必要です。その場合、[アイデンティティ・プリザーブド]または[セグリゲーション]を選択すると最高評価、[マスバランス]を選択すると部分点となります。
 - 上述以外の場合、[第三者認証スキーム]欄で、以下の中から該当するものを選択すると最高評価となります。
(選択肢:[FSC FM認証] - [FSC CoC認証] - [FSC 管理木材] - [再生利用FSC] - [PEFC SFM (持続可能な森林管理)認証] - [PEFC CoC] - [SFI森林管理基準] - [SFI CoC] - [SFI繊維調達認証] - [RSPO生産者/栽培者認証] - [RSPOアイデンティティ・プリザーブド(IP)] - [RSPOセグリゲーション(SG)] - [RTRS生産] - [RTRSセグリゲーション])。但し、[RSPO マスバランス(MB)]または[RTRSマスバランス(MB)]を選択すると部分点となります。

前スライドのつづき

F6.3a 認証システムを受けた貴社の生産および／または消費の量と割合の詳細内訳を示します。

6	7	8	9	10
認証を受けた生産量/消費量*	測量単位*	2つ以上のスキームの認証を受けていますか。	組み込み（生産・製造に使用された）大豆はこのスキームにより認証を受けていますか。*	説明してください
数値記入欄[最小小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: - メートルトン - リットル - ガロン - 丸太相当量(RWE) - 木質原材料相当量 (WRME) - 立方メートル - 平方メートル - その他、具体的にお答えください	選択肢: - はい - いいえ - 不明	選択肢: - はい - いいえ - わかりません - 該当なし	文章記入欄[最大2,400文字]

- ✓ 大豆に関しては、2023年質問書からは組み込み（生産・製造に使用された）大豆に関しても、第三者認証スキームにより認証を受けているか否かの質問が加わっています。
- ✓ リーダーシップレベル採点基準の留意点:
 - マネジメントポイントが付与されているすべての行に対して、次が適用されます:
列4[総生産/消費量のうち認証を受けた量の割合]欄に記入されたすべての割合の合計が質問F6.3に記入された割合と同じである
または
列4[総生産/消費量のうち認証を受けた量の割合]欄に記入されたすべての割合の合計が質問F6.3に記入された割合より大きい、
且つ、1つ以上の行の[2つ以上のスキームの認証を受けていますか]欄で[はい]が選択されている
- ✓ マネジメントレベルで得点したすべての行がリーダーシップレベルでの採点に使用されます(例: [使用される加工・流通過程管理モデル]欄で[アイデンティティ・プリザーブド(IP)], [セグリゲーション(SG)], [マスバランス(MB)]のいずれかが選択された場合、それらの行が採点に使用される)。

【Aリスト要件】

F6.4 開示したコモディティについて、自然生態系の転換および/または森林減少なしのコミットメントの順守を管理、監視、または検証するためのシステムをもっていますか。

＜回答依頼内容＞

F4.5および/またはF4.6の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問は表示されます

森林リスク・コモディティ	順守を管理、監視、または検証するためのシステム	コメント
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: • はい、自然生態系の転換および/または森林減少のコミットメントについて実施中のシステムがあります • はい、実施中のシステムがありますが、その他のコミットメントに関するものです • いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定 • いいえ	文章記入欄[最大1,000文字]

- ✓ **管理システム(Control system)**とは：原材料や製品の生産地および／またはサプライチェーンを通過する際の属性を評価・管理するシステム([AFi](#),2019)。これにはサプライヤーとのエンゲージメント、トレーサビリティシステム、購入管理システム、第三者認証スキーム、監視と検証、管轄アプローチ、衛星を利用した早期警戒システム、および苦情処理メカニズムを含みますがこれに限定されません。
- ✓ これらのコミットメントは、F4.6bで回答した [自然生態系の転換なし]、[総森林減少ゼロ/森林減少なし]、および/または[森林減少のネットゼロ]と一致している必要があります。
- ✓ [順守を管理、監視、または検証するためのシステム]の欄で、**[はい、自然生態系の転換および／または森林減少のコミットメントについて実施中のシステムがあります]**を選択する必要があります。これは**Aリスト要件**です。

【Aリスト要件】

F6.4a [自然生態系の転換および/または森林減少なし]のコミットメントを実践するためのシステム、順守を監視するために使用される手法、定量的進捗、不順守プロトコルに関する詳細を記入します。

＜回答依頼内容＞ F6.4の回答で[はい、自然生態系の転換および/または森林減少なしのコミットメントについて実施中のシステムがあります]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます

1	2	3	4	5
森林リスク・コモディティ	対象事業範囲	管理システムの内容	モニタリングと検証手法	順守されている総量の割合
選択肢: ● F6.4で[はい、自然生態系の転換および/または森林減少なしのコミットメントについて実施中のシステムがあります]を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	該当するものをすべて選択: ● 直接操業 ● サプライチェーン ● 選択した施設、事業、または地理的場所のみ	文章記入欄[最大1,000文字]	該当するものをすべて選択: ● 地理空間モニタリングツール ● 地上ベースのモニタリングシステム ● コミュニティ密着型モニタリング ● 第一者検証 ● 第二者検証 ● 第三者検証 ● モニタリングと検証アプローチはありません ● その他、具体的に教えてください	選択肢: ● <10% ● 10～20% ● 21～30% ● 31～40% ● 41～50% ● 51～60% ● 61～70% ● 71～80% ● 81～90% ● 91～99% ● 100% ● わかりません

- ✓ 列4 [モニタリングと検証手法]欄では、より客観的な手法が重視されており、[地理空間モニタリングツール]、[地上ベースのモニタリングシステム]、[コミュニティ密着型モニタリング]、[第三者検証]のいずれかを採用していると、認識レベルで評価されます。
- ✓ 列5 [順守されている総量の割合]は値が高いほど、評価が高まります。10%以上であれば認識レベルで、81%以上の場合マネジメントレベルで、91%以上の場合リーダーシップレベルで評価されます。Aリスト要件としては91%以上が求められます。

前スライドのつづき

F6.4a [自然生態系の転換および/または森林減少なし]のコミットメントを実践するためのシステム、順守を監視するために使用される手法、定量的進捗、不順守プロトコルに関する詳細を記入します。

6	7	8	9	10
順守している総サプライヤーの割合	サプライヤー不順守に対する対応	エンゲージメントのあった不順守サプライヤーの割合	サプライヤーの不順守に対処し、解決する手順	説明してください
選択肢: ● <10% ● 10～20% ● 21～30% ● 31～40% ● 41～50% ● 51～60% ● 61～70% ● 71～80% ● 81～90% ● 91～99% ● 100% ● わかりません	該当するものをすべて選択: ● 保持してエンゲージメントを行う ● 一時停止してエンゲージメントを行う ● 除外する ● 対応なし ● その他、具体的にお答えください	選択肢: ● <10% ● 10～20% ● 21～30% ● 31～40% ● 41～50% ● 51～60% ● 61～70% ● 71～80% ● 81～90% ● 91～99% ● 100% ● わかりません	該当するものをすべて選択: ● サプライヤーを順守状態に戻すための期限付き目標とマイルストーンの作成 ● 不順守に対処するために講じることができる適切な措置に関する情報の提供 ● 一貫した数値的な尺度を通じた不順守サプライヤーの措置の有効性と取り組みの評価 ● 良好で検証可能な活動完了に基づいたサプライヤーのサプライチェーンへの再組み入れ ● その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大1,500文字]

- ✓ 列2[対象事業範囲]欄で選択肢[サプライチェーン]が選択されている場合、[順守されている総量の割合]に加えて、列6[順守されている総サプライヤーの割合]、列7[サプライヤー不順守に対する対応]、（ [順守されている総サプライヤーの割合]が100%でない場合 ）列8 [エンゲージメントのあった不順守サプライヤーの割合]もマネジメントレベルから評価の対象となります。
- ✓ リーダーシップレベルでは、以下のいずれかを満たしていれば最高評価となります。
 - [順守されている総量の割合]欄で[100%]を選択
 - [順守されている総量の割合]欄で[91～99%]を選択、かつ[エンゲージメントのあった不順守サプライヤーの割合]欄で[100%]を選択
- ✓ なお、質問F6.4で[はい、自然生態系の転換および/または森林減少のコミットメントについて実施中のシステムがあります]が選択されていない場合は、本質問におけるリーダーシップレベルでの得点は0となります。

【Aリスト要件】

F6.8 直接サプライヤーと協働し、森林関連問題への行動を促進しているかを教えてください。促進している場合は、そのエンゲージメントについて具体的にお答えください。

＜回答依頼内容＞ F0.4の回答で[加工]、[取引]、[製造]、および/または[販売]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます

1	2	3	4	5	6
森林リスク・コモディティ	直接サプライヤーとのエンゲージメントの有無	エンゲージメントにより促進される森林関連問題への行動*	エンゲージメントの種類*	エンゲージメントの詳細*	エンゲージメントの説明*
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: - はい、直接サプライヤーに対してエンゲージメントを行っている - いいえ、直接サプライヤーに対してエンゲージメントを行っていない - 該当なし	選択肢: - 森林減少/その他の生態系の転換の停止 - 過去の森林減少/その他の生態系の転換の復元 - 先住民と地域コミュニティの[自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)]の保護 - 国連国際労働機関原則の採用 - その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: - サプライチェーン・マッピング - キャパシティビルディング - 金銭的および商業的インセンティブ - 技術革新と協業 - その他	下記ドロップダウン選択肢から該当するものをすべて選択します	文章記入欄(最大2,400文字)

- ✓ 列2[直接サプライヤーとのエンゲージメントの有無]の欄で、[はい、直接サプライヤーに対してエンゲージメントを行っている]を選択すると認識レベルで最高評価となります。これは**Aリスト要件**です(該当する場合)。
- ✓ 列5[エンゲージメントの詳細]において、以下のいずれかを選択するとマネジメントレベルで評価されます。このうち、赤字の選択肢を選択するとリーダーシップレベルでも評価されます。

- [現地トレーニングと技術支援の提供]
- [キャパシティビルディング・イベントの企画]
- [パイロットプロジェクトへの投資]
- [コモディティ操業全体にわたって自社の森林減少/転換なしのコミットメントを掲げるようにサプライヤーを支援する]
- [明確なマイルストーンのある期限を定めた行動計画を作成するようにサプライヤーを支援する]

- [農業ベストプラクティスに関連付けられた高い金額の支払い]
- [認定製品に対する金銭的インセンティブ]
- [農業ベストプラクティスに関連付けられた与信枠の提供]
- [農業ベストプラクティスに関連付けられた購入保証]
- [森林関連コモディティに関連付けられた長期契約]
- [製品およびサービスへの森林関連の影響を軽減するイノベーションで、サプライヤーと協力している]

前スライドのつづき

F6.8 直接サプライヤーと協働し、森林関連問題への行動を促進しているかを教えてください。促進している場合は、そのエンゲージメントについて具体的にお答えください。

7	8	9	10
サプライヤーからの全調達額におけるエンゲージメント対象サプライヤー調達額の割合*	選択した行動への貴社のエンゲージメントによる効果について説明してください	このエンゲージメントは、選択した行動について、貴社のサプライヤーがさらにそのサプライヤーと協働するのを促しますか。	このエンゲージメントは報告される目標の達成に貢献しますか。
パーセンテージ記入欄[最小小数点第2位を用いて、0～100の割合を入力]	文章入力欄[最大2,400文字]	選択肢: - はい - いいえ - 不明	選択肢: [[はい]の場合は、目標IDを明記してください - いいえ

- ✓ マネジメントレベルでは、その他、以下の点も評価されます。

 - 列7[サプライヤーからの全調達額におけるエンゲージメント対象サプライヤー調達額の割合]欄に、10以上の数値を記入
 - 列6[エンゲージメントの説明]欄に、**継続中または完了した直接サプライヤーとのエンゲージメント活動の事例**を記入(日付や期間も含める必要あり)
- ✓ リーダーシップレベルでは、以下の点も評価されます。

 - 列3[エンゲージメントにより促進される森林関連問題への行動]欄で**森林減少/その他の自然生態系の転換の終了(停止)**を選択
 - 列10[このエンゲージメントは報告される目標の達成に貢献しますか。]欄で、[[はい、目標IDをお答えください]]を選択し、**関連の目標ID(質問F6.1aで報告されるもの)**を明記
- ✓ 列2[直接サプライヤーとのエンゲージメントの有無]欄で、選択肢[該当なし]が選択されている場合、列10[エンゲージメントの説明]欄に、[企業には直接サプライヤーがない]旨の記載が必要です。但し、この場合、リーダーシップレベルの得点は0となります。

【Aリスト要件】

F6.10 共有した持続可能な土地利用目標を進展させるために(管轄アプローチを含む)ランドスケープアプローチでエンゲージメントを行っていますか。

ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行っていますか。	ランドスケープおよび/または管轄アプローチでエンゲージメントを行わない主な理由*	貴社がランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行わない理由を説明し、将来エンゲージメントを行う予定を説明してください。*
選択肢: ● はい、ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行っています ● いいえ、しかし今後2年以内にランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行う予定です ● いいえ、ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行っておらず、今後2年以内に行う予定もありません	選択肢: ● 重要だが、事業上の差し迫った優先事項でないため ● 重要でない判断し、理由も説明 ● 社内リソースの不足 ● 経営陣から指示がないため ● 事業活動に関するデータ不足 ● ランドスケープ/管轄アプローチでエンゲージメントを行う方法に関する知識または情報の不足 ● エンゲージメントを行うための適切なイニシアチブがない ● ランドスケープ/管轄区域でエンゲージメントを行う利益が明確でない ● エンゲージメントの利益がコストを凌駕しない ● その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大1,500文字]

- ✓ **ランドスケープアプローチ(LA: Landscape Approach)**とは:共有の持続可能性目標を達成し、レジリエンスを構築するために、ランドスケープのステークホルダーが協働する場所ベースの管理手法です。複数の経済セクターや土地利用において、複数の社会・経済・環境目標を調整し、最適化することを目指すものです。このようなアプローチは、土地利用計画、政策、イニシアティブ、長期投資、その他の介入を通じて実施されています。**管轄アプローチ(JA: Jurisdictional Approach)**とは:共有された持続可能性目標を推進するためのランドスケープ・アプローチの一種で、ランドスケープが準国家政府の行政境界によって定義され、政府の高いレベルの関与のもとアプローチが実施されます（詳しくはこちらの[CDPLレポート](#)(2022)、[CDPLレポート](#)(2021)、日本企業の事例としては[CDPフォレストレポート2020の事例紹介](#)などをご参照ください)。
- ✓ [ランドスケープ／管轄アプローチでエンゲージメントを行っていますか]欄で、[はい、ランドスケープ／管轄アプローチでエンゲージメントを行っています]を選択すると認識レベルで最高評価となります。こちらは**Aリスト要件**です(なお、これを満たしていない場合、F6.11で、列2[活動/イニシアチブに参加していますか。]欄で、[はい]を選択することでも満たしたことになります)。

F6.10b 報告年中に持続可能な土地利用に対するランドスケープ/管轄アプローチによる貴社のエンゲージメントを具体的にお答えください。

<回答依頼内容> F6.10で[はい、ランドスケープおよび/または管轄アプローチでエンゲージメントを行っています]が選択されている場合にのみ、この質問が表示されます

1	2	3	4	5
ランドスケープ/ 管轄ID	国/地域	ランドスケープまたは管轄区域の名称	イニシアチブの設計・実行においてエンゲージメントを行うパートナーの種類	エンゲージメントの種類
選択肢:LJ1-LJ100	選択肢: - 国/地域のリスト - その他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大500文字]	該当するものをすべて選択: - 国の行政機関 - 地方の行政機関 - 国際市民社会組織 - 国内市民社会組織 - 地域市民社会組織 - 金融機関 - 地域の森林協会/農協 - 先住民 - 地域コミュニティ - 地域生産者/小規模農家 - 国際企業 - 国内/現地企業 - 直接サプライヤー - 間接サプライヤー - 学者/研究者 - 社外コンサルタント - 労働組合 - その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: - 招集者:設立、設計、管理、および実施における高いレベルのエンゲージメント - パートナー:複数の目標の実行における共同責任 - 支援者:1つ以上の目標を支援する活動を実行する - 資金提供者:全部または一部の財政的支援を提供する - その他、具体的にお答えください

- ✓ ランドスケープ／管轄アプローチへの企業エンゲージメントにおいては、責任を伴う高いレベルのものが推奨されています。
- ✓ この点が、マネジメントレベルでの評価対象となっており、このレベルで最高評価を得るには、列5 [エンゲージメントの種類]においては、招集者、パートナー、支援者、資金提供者のいずれかの選択、列6[エンゲージメントが支援する目標]、列7[アプローチ支援の企業行動]、列4 [イニシアチブの設計・実行においてエンゲージメントを行うパートナーの種類]においては、それぞれ三つ以上の選択が求められます。

前スライドのつづき

F6.10b 報告年中に持続可能な土地利用に対するランドスケープ/管轄アプローチによる貴社のエンゲージメントを具体的にお答えください。

6	7	8	9	10
エンゲージメントが支援する目標	アプローチ支援の企業行動	エンゲージメントの詳細	エンゲージメント開始年	エンゲージメント終了年
該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	文章入力欄[最大2,500文字]	数値記入欄[1900～2100の数字を入力]	選択肢: ● 具体的にお答えください ● 特定されていない

11	12	13
プロジェクト期間にわたる推定投資額(通貨)	進捗を測定するために、集团的モニタリングの枠組みを使用していますか。	今までのところの貴社のエンゲージメントの成果と、進捗がどのようにモニタリングされるかを示してください*
数値記入欄[最大小数点第10位を用いて、コンマなしで0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: ● はい、共通の外部フレームワークを使用して集团的に進捗状況をモニタリングしています(具体的にお答えください) ● はい、社内で定義されたフレームワークを使用して進捗状況をモニタリングしています ● いいえ、しかし今後2年以内に進捗をモニタリングする予定です ● いいえ、そして今後2年以内に進捗状況をモニタリングする予定はありません	文章入力欄[最大2,500文字]

- ✓ 持続可能な土地利用の促進にあたっては、様々なステークホルダーが関与していることから、一企業だけの取組による成果は限られます。よって、**より多くのステークホルダーを巻き込む集团的な取組とその進捗の透明性**が求められます。
- ✓ リーダーシップレベルでは、この点が評価対象となっており、列12[進捗を測定するために、集团的モニタリングの枠組みを使用していますか。]欄で、**[はい、共有の外部枠組みを使用し、進捗状況を集団でモニタリングしている。具体的にお答えください]**が選択できる場合、最高評価となります。

F6.10c 貴社が開示するコモディティごとに、エンゲージメントを行う各ランドスケープ/管轄区域からの生産量/消費量の詳細を教えてください。

<回答依頼内容>

F6.10で[はい、ランドスケープおよび/または管轄アプローチでエンゲージメントを行っていますが]が選択されている場合にのみ、この質問が表示されます

ランドスケープ/管轄区域IDを明記ください	貴社のいずれかのコモディティ生産量/消費量はこのランドスケープ/管轄区域で創出されていますか、この量に関する情報を開示することは可能もしくはそのことに前向きですか。	コモディティ*	このランドスケープ/管轄区域からの生産量/消費量が合計量に占める割合*
選択肢: LJ1-LJ100	選択肢: - はい、このランドスケープ/管轄区域で生産/消費しており、その量に関するデータを開示することは可能/ そのことに前向きです - はい、このランドスケープ/管轄区域で生産/消費していますが、その量に関するデータを開示することは可能ではない/そのことに前向きではありません - いいえ、このランドスケープ/管轄区域では生産/消費していません	選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	数値記入欄[0~100の数字を入力]

- ✓ 各ランドスケープ/管轄区域内でのコモディティの生産/消費を開示することで、共同エンゲージメントが持続可能な生産/消費を増やすための貴社の戦略に貢献しているかどうかになります。それにより、ランドスケープ/管轄アプローチにおける貴社のエンゲージメントが森林リスクコモディティの調達とどのように関連しているかをデータ利用者が理解するのに役立ちます。
- ✓ [ランドスケープ／管轄区域IDを明記ください]の欄は、F6.10bの列1[ランドスケープ／管轄区域ID]で選択したIDと同じIDを選択していることを確認してください。例えば、ここで[LJ1]はF6.10bでのID[LJ1]に帰属する同じ取組に言及するものとします。
- ✓ [コモディティ]欄は、列2で[はい、…データを開示することは可能／そのことに前向きです]を選択した場合のみ表示されます。このランドスケープ/管轄区域で生産/消費している開示済みコモディティを選択してください。同じ管轄区域で別の開示済みコモディティを生産/消費している場合は、別の行を追加してください。
- ✓ 2023年質問書では、本質問は、情報開示レベルのみの採点となります。

【Aリスト要件】

F6.11 貴社の森林関連方針とコミットメントの実行を促進するために、その他の社外の活動および/またはイニシアチブに参加していますか。

1	2	3	4	5	6	7
森林リスク・コモディティ	活動/イニシアチブに参加していますか。	活動*	国/地域*	地方の区域*	イニシアチブ*	説明してください
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: - はい - いいえ	選択肢: - マルチパートナーシップまたはマルチステークホルダー・イニシアチブに参加した - 政策担当者や政府に対してエンゲージメントを行っている - 業界プラットフォームに参加している - コミュニティへのエンゲージメントを行っている - 非政府組織に対してエンゲージメントを行っている - 調査機関への出資を通して - その他、具体的にお答えください	選択肢: - 該当なし - 国/地域のリスト - その他、具体的にお答えください	選択肢: - 該当なし - 具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: 表の下に示されているドロップダウンリスト	文章記入欄[最大2,400文字]

- ✓ 列2[活動/イニシアチブに参加していますか。]欄で、[はい]を選択すると認識レベルで最高評価となります。こちらは**Aリスト要件**です(なお、これを満たしていない場合もF6.10の[ランドスケープ／管轄アプローチでエンゲージメントを行っていますか]欄で、[はい、ランドスケープ／管轄アプローチでエンゲージメントを行っています]を選択していればAリスト要件を満たしたことになります)。
- ✓ 社外活動・イニシアチブの中でも、**マルチパートナーシップまたはマルチステークホルダー・イニシアチブ**が推奨されます。マネジメントレベルで最高評価を得るには、列3[活動]欄で、[マルチパートナーシップまたはステークホルダーイニシアチブに参加している]を選択、列6[イニシアチブ]の選択肢より該当するものを選択、列7で、そのイニシアチブにおける**企業の役割**を記載する必要があります(列3[活動]欄で[その他、具体的にお答えください]以外の選択肢を選んだ場合も、列7で企業の役割を説明することで最高評価が得られます)。但し、リーダーシップレベルで最高評価を得るには、列3[活動]で、[マルチパートナーシップまたはステークホルダーイニシアチブに参加している]の選択が必須となります。

F6.12a 規模、期間、およびモニタリング頻度を含むプロジェクトの詳細をお答えください。評価した成果を詳述してください。

<回答依頼内容> F6.12（貴社は、生態系復元や長期保護に焦点を当てたプロジェクトを支援 または実施していますか）の質問で、[はい]を選択している場合にのみ、この質問が表示されます

1	2	3	4	5	6	7
プロジェクトの参照番号	プロジェクト種別	プロジェクトから期待できる利益	このプロジェクトは炭素クレジットを創出していますか。	プロジェクトの詳細	貴社のバリューチェーンとの関連で、このプロジェクトはどこで行われていますか。	開始年
選択肢: ● プロジェクト1 ● プロジェクト2 ● プロジェクト3 ● プロジェクト4 ● プロジェクト5 ● プロジェクト6 ● プロジェクト7 ● プロジェクト8 ● プロジェクト9 ● プロジェクト10	選択肢: ● 森林生態系復元 ● マングローブ保護および復元 ● 泥炭地保護および復元 ● その他の生態系復元 ● 森林再生 ● 自然再生 ● 森林農業 ● 植林 ● 土壌炭素隔離 ● 農業 ● バイオ炭 ● 絶滅危惧種と保護種 ● 休耕地 ● 生物多様性オフセット ● その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	選択肢: ● はい ● いいえ	文章記入欄[最大2,400文字]	該当するものをすべて選択: ● 直接操作が行われている地域でのプロジェクト ● 調達地域でのプロジェクト ● それ以外の場所でのプロジェクト	数値記入欄[小数点を用いずに、1900～2023の数字を入力]

- ✓ 貴社が支援または実施する生態系復元や長期保護に焦点を当てたプロジェクトについて、列1[プロジェクトの参照番号]には、各プロジェクトの参照番号を選択ください。最大で10の異なるプロジェクト(プロジェクト1～プロジェクト10)を記入できます。この参照番号は、来年以降特定のプロジェクトに関する進捗を追跡するために使用されることを想定しています。
- ✓ 列2[プロジェクト種別]欄では、貴社が影響を与えた用地、または貴社が所有/管理している土地内で、保護生息面積の増加、または生物学的属性の質を向上させる行動が推奨されており、[その他、具体的にお答えください]以外を選択すると、認識レベルで最高評価となります。

F6.12a 規模、期間、およびモニタリング頻度を含むプロジェクトの詳細をお答えください。評価した成果を詳述してください。

8	9	10	11	12	13
目標年	今までのプロジェクト面積(ヘクタール)	目標年のプロジェクト面積(ヘクタール)	国/地域	緯度	経度
選択肢: ● 2019年以前 ● 2020年 ● 2021年 ● 2022年 ● 2023年 ● 2024年 ● 2025年 ● 2026年 ● 2027年 ● 2028年 ● 2029年 ● 2030年 ● 2031～2035年 ● 2036～2040年 ● 2041～2045年 ● 2046～2050年 ● 2050年以降 ● 無期限 ● その他、具体的に ●	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: [国/地域のリスト]	数値記入欄[最大小数点第6位を用いた-90.000000～90.000000の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第6位を用いた-180.000000～180.000000の数字を入力]
14	15	16	17		
モニタリング頻度	プロジェクト期間にわたる総投資額 (通貨)	期待される利益のうち、貴社が進捗状況をモニタリングしているのはどれですか。	説明してください		
選択肢: ● 半年に1回以上 ● 年1回 ● 2年に1回 ● 5年に1回 ● モニタリングを実施したことはない	数値記入欄[最大小数点第10位を用いて、コンマなしで0～999,999,999,999の数字を入力]	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	文章入力欄[最大2,400字]		

- ✓ 貴社が支援または実施する生態系復元や長期保護に焦点を当てたプロジェクトを通して期待できる利益を明確にするとともに、そのためのモニタリング頻度を開示することが重要です。
- ✓ マネジメントレベルでは、列14[モニタリングの頻度]を2年に1回以上、列3[プロジェクトから期待できる利益]を一つ以上選択し、列16[期待される利益のうち、貴社が進捗状況をモニタリングしているのはどれですか。]欄で列3に対応する選択肢が選択されていると最高評価が得られます。
- ✓ リーダーシップレベルでは、モニタリングする項目のモニタリング方法についての説明、モニタリング結果(列7[開始年]が質問F0.2の[終了日]に記載される年と同じである場合は、期待されるモニタリング結果)が[説明してください]欄に記載されていると最高評価が得られます。

F7 検証 Verification

F7.1 貴社のCDP開示で報告した森林情報を検証していますか。

[はい]

F7.1a 貴社のCDP開示の中ではどのデータポイントを
検証しましたか。また、どのような基準を使用し
ましたか。

- [実施中]
- [いいえ、しかし今後2年以内に検証することを積極的に検討中]
- [いいえ、より成熟度の高い検証基準/プロセスを待っている]
- [いいえ、CDPで報告した森林関連情報は検証していない。検証する予定もない]

モジュール終了

F17 最終承認

F-FI この欄を使用して、貴社の回答に関連する追加情報を記入します。この欄は任意で、採点されないことにご注意ください。



F17.1 CDPフォレスト質問書への貴社の回答を最終承認した人物に関する以下の情報を記入します。



モジュール終了

F8 障壁と課題

Barriers and challenges

F8.1 貴社の 直接操業またはバリューチェーンのその他の部分による森林減少および/またはその他の自然生態系の転換の排除に対する主要な障壁または課題について説明します。



F8.2 森林減少および/またはその他の自然生態系の転換におけるリスクを管理する貴社の能力を向上させるであろう主な方策について説明します。



モジュール終了

F17 最終承認

F17.1 CDPフォレスト質問書への貴社の回答を最終承認した人物に関する以下の情報を記入します。

<回答依頼内容>

役職	職種
記述式回答	選択肢(複数可) - 取締役会議長 - 取締役会/執行役員会 ⋮ - リスク管理部長 - その他(具体的にお答えください)

✓ この点、ご注意ください。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1欄回答するごとに1点	採点対象外	情報開示が1点以上 [職種]欄で以下を選択:2点 取締役会議長, 取締役会/執行役員会, 取締役, 最高経営責任者(CEO), 最高財務責任者(CFO), 最高執行責任者(COO), 最高調達責任者(CPO), 最高リスク管理責任者(CRO), 最高サステナビリティ責任者(CSO), その他の経営幹部役員, 社長 その他の選択:1点	[職種]欄で選択した内容と、[役職]欄で記述した説明が一致 [職種]欄で以下を選択:1点 取締役会議長, 取締役会/執行役員会, 取締役, 最高経営責任者(CEO), 最高財務責任者(CFO), 最高執行責任者(COO), 社長
配点	2	0	2	1

SFサプライチェーンモジュール

F0 はじめに

F1 現在の状況

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障壁と課題

F17 最終承認

SF サプライチェーン
モジュール

SF サプライチェーンモジュール

SF0. 年間売上

SF1. 販売認証量

SF2. 協働の機会

SF3. 排出量

CDPが提供している主な資料(リンク集)

- ▼ よくあるご質問(FAQ)
- ▼ 回答ダッシュボード使用方法(アカウントの作成など)
- ▼ オンライン回答システム使用方法
- ▼ スコアリングイントロダクション
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書
- ▼ 各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準
- ▼ 各質問書に関するウェビナー(動画・資料)
- ▼ 各質問書の前年からの変更点
- ▼ 公開されている他社回答へのアクセス
- ▼ 日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書
- ▼ CDPジャパンが開催するセミナー情報(過去の録画・資料含む)

CDPニュースレターのご案内



CDPジャパンでは、ニュースレターの配信を行っております。ウェビナーやシンポジウム、レポートに関する最新の情報を提供しておりますので、ぜひご登録ください。

ご登録フォーム





CDP Worldwide-Japan

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



<https://japan.cdp.net/> (CDP Worldwide-Japanサイト)
www.cdp.net/ja (グローバルの日本語サイト)



お問い合わせ : [CDP Help Center](#)まで (ご質問内容は、日本語でもご入力いただけます。)
もしくは、

ナレッジベース (ユーザー向けFAQサイト) をご参照ください。

日本語 : <https://help.cdp.net/ja-JP/knowledgebase/>

英語 : <https://help.cdp.net/en-US/knowledgebase/>

よくあるご質問(日本語) : <https://cdn.cdp.net/cdp-production/comfy/cms/files/files/000/008/042/original/2023FAQ.pdf>